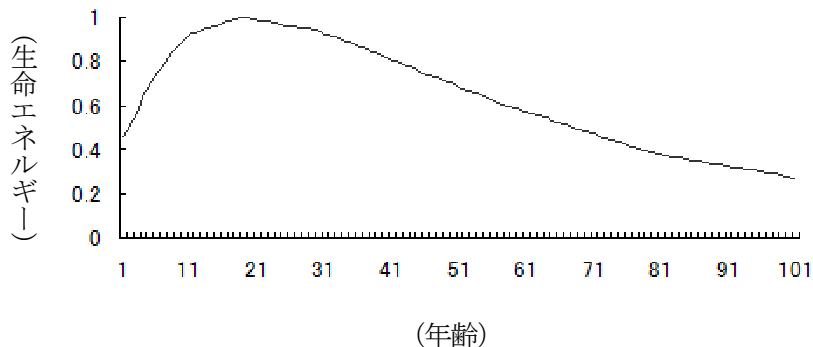


輝の会

(かがやきのかい)

- 生命エネルギーの発見による**延命・長寿の実現**
→ **あなたも長生きできます**
- **イエス再臨**の宗教登場
- 天意による**がん治療**受付中

生命エネルギー曲線



はじめに

この小冊子は、輝の会（かがやきのかい）の活動内容を紹介させて頂くために作成しました。

輝の会とは、社会全体、人類全体の完全調和を実現することを目標として活動する団体のことです。

輝の会の主な活動実績は、以下になります。

- 生命エネルギーの発見により、寿命を延ばす方法を確立しました。
あなたの寿命を延ばすことも、もちろん可能です。
- オーラ発生理論解明。
- 全ての人に徳を提供することにより、人類全体の若返りを実現。
最近若々しい人が増えたのは、輝の会の働きなのです。
- 800 億人以上の方々の救済実現。
- 天界（守護神霊の世界）に 40 億人以上を導きました。これらの守護神霊の働きで、世界は急速に調和に向かい始めています。
（ミャンマーのアウンサンスーチー氏の解放等）
- 日本の不良債権問題（1990 年代以降）の解決。
- リーマンショックによる欧米諸国の不良債権問題の解決。
- 原子力発電の誤りを理論的に解明。原子力発電全廃の理論的根拠となっています。

輝の会はいつも皆様のための活動を行っています。
本冊子が少しでもお役に立てたら幸いです。

2012 年 8 月

輝の会会長 滝沢 輝

輝の会の主な特徴や活動内容は以下になります。

1. ノストラダムスの大予言で登場を予言されていました。
2. イエスキリストの再臨（真理の顕現）として設立された宗教団体です。
3. キリスト教の千年王国としても登場を予言されていました。
4. 史上最も理解度、完成度が高い宗教です。
日本の不良債権問題を解決したのも輝の会教義です。
5. 輝の会教義は他宗教（ユダヤ教、キリスト教、ヨガ、仏教、密教、道教）の教義よりはるかに高い理解度に到達しています。
もちろんこれらの宗教の主要な真理を全て含んでいます。
6. 人類全体の霊位上昇、積徳量増加を行うことにより、社会の調和・発展に貢献しています。
7. 既に48億人の方を天界に導きました。（2012.3.31現在）
尚、輝の会登場以前に天界入りした地球人類は20数名のみでした。
（阿弥陀如来、大日如来等が該当します）
地球人類全体（31兆人：霊界を含む）の天界入りを目標に活動しています。
8. 全ての人の霊位、積徳量を公開しています。
9. 本尊は輝の神（かがやきのかみ）です。輝の神は史上初めて創造神界入りした神霊（創造神）です。
（創造神界は、天界（守護神の世界）より上位の世界です）
10. 輝の会には大勢の守護神がおられます。釈迦、イエスも輝の会守護神です。
11. 輝の会教義「5次元理論」により、オーラ発生原理の理論化に史上初めて成功。この理論により、オーラ（磁界エネルギー）発生装置を開発済です。
12. 延命・長寿サービスを会員に無料で行います。
一般の方は延命・長寿サービス（トライアル）（無料サービス）をお申込頂けます。
創造神は生命エネルギー（人の生命を司るエネルギー）を供給できるため、

人の寿命を延ばすことができます。

13. 天意により、**がんや統合失調症等の難病治療を受付中**。磁界エネルギーは調和エネルギーなので、がん、統合失調症等の原因を消去することが可能です。その結果、これらの難病を完全に治療することができます。（手術は行いません）
14. 開運受付中
15. 先祖供養・水子供養受付中
16. 霊位診断、先祖霊位診断受付中

1～16の詳細な内容については、次ページ以降に記載しました。

1. ノストラダムスの大予言で登場を予言されていました

1999年7の月

恐怖の大王が空から降ってくるだろう

アンゴルモアの大王を蘇らせるために

その前後の期間 マルスは幸福の名のもとに支配するだろう

これは有名なノストラダムスの大予言の詩です。

(「諸世紀」第10巻72編)

しかし、この予言の正確な意味は誰にも理解できていないと考えられていました。

実は、この予言は輝の会の登場を意味しているのです。

「恐怖の大王が空から降ってくるだろう」

はイエスの再臨を意味します。(伝承によります)

しかし、1999年にイエスが実際に姿を現したという話は聞いたことがありません。

イエスの再臨とは、真理の顕現を意味しています。

1999年に真理が顕現されると、ノストラダムスは予言していたのです。

アンゴルモアは原文では (Angolmois) というスペルになります。

Angolmois = A + ngol + mois

a・・・接頭語で、「否定」を意味する。

ngol・・・mongolの省略形。モンゴル人を意味する。

mois・・・moinsの省略形。moinsは英語のless(～以下の)に相当する比較級
釈迦はモンゴル人であるという説があります。(定説はありません)

mongolは「釈迦」を意味しています。

以上の解釈をつなぎ合わせると、アンゴルモアは「釈迦を超えた」という意味になります。

アンゴルモアの大王とは、「釈迦を超えた日の著者 滝沢輝」を意味しているのです。

輝の会会長 滝沢輝は「釈迦を超えた日」という本を2001年に出版しました。

同書の中で、1999年7月に釈迦の霊位を超えたことを記載しました。

当時、釈迦とイエスキリストの霊位は、ほぼ同レベルでした。

1999年7月には、釈迦だけではなくイエスキリストの霊位も超えたのです。

霊位は真理の理解度を意味します。

イエスキリストの霊位を超えるということは、滝沢の真理の理解度がイエスキリストの説い

た真理を超えたことを意味します。

即ち、滝沢にイエスの真理がもたらされたことを意味しています。

マルスとは、一般には火星や軍神を意味します。(戦争等の原因です)

より正確に説明すると、マルスは戦争等の不調和の原因となる業念(不調和な想念エネルギー)を意味します。

人類の業念の大部分は未浄化霊の迷いの想念です。実在しないもの(病気・戦争等)をあると考えている霊位がマイナスの人々(未浄化霊)の人数は、3兆人を超えています。(2012.6.12 現在)

全世界の人口は70億人程ですから、その400倍以上の人が、業念を発し続けていることとなります。

業念を発している理由は、これらの未浄化霊が他界する前に肉体で活動していた世界、即ち私たちの世界にあります。肉体で活動している時に誤った想念・行為を繰り返したため、他界後も業念を発しているのです。

この業念は、当然私たちの世界に向けられることとなります。肉体活動を行った世界を想起しながら業念を発しているためです。

これらの莫大な業念エネルギーが、世界が調和しない本質的な理由なのです。

「その前後の期間 マルスは幸福の名のもとに支配するだろう」

の正しい解釈は、

「莫大な業念エネルギーが「幸福」という名を通じて大勢の人々を支配する」となります。

この「幸福」という名の団体は、常に業念に覆われています。未浄化霊の業念の人類への入口になっているのです。ですから、この団体の活動をサポートすると、人類を覆う業念は一層強くなります。

「幸福」が業念に覆われている理由は、存在しないものを存在すると主張しているためです。

人類が業念と波長の合わない調和した生活を続ければ、業念の悪影響を受けることはありません。しかし、業念主体の団体を社会に広めれば、社会全体の波長が業念と一致するため、社会は様々な不調和状態に見舞われることとなります。

「幸福」という団体を覆う業念を消去すると、北朝鮮、シリア、イスラエル等の国家を覆う業念も消去されます。これは、「幸福」を覆う業念が世界全体の業念の発信源になっていることを意味します。世界中の不調和の原因である業念はすべてつながっているのです。

ですから、業念主体の団体へのサポートを止めるだけで、社会全体を調和させることが可能なのです。

未浄化霊の霊位(※)がマイナスである理由として、

「正しくない教えを正しい教えとして信じる」

場合があります。偽の宗教家（霊位がマイナスの宗教家）を信じると、その人物の霊位に近づくため、霊位がマイナスになります。これは未浄化霊と同じ状態です。

このように、実在しないものを「存在する」と考えている、3兆人を超える霊位マイナスの人々の想念が、70億人の人類の想念に悪影響を与えているため、世界は不安定な状態が続いているのです。

以上の解釈を全てつなぎ合わせると、予言の正しい解釈は以下になります。

1999年7月に「**釈迦を超えた日**」の著者(輝の会会長 滝沢輝)の**霊位がイエスキリストを超えることにより真理が顕現される。**

その前後の期間、**莫大な業念エネルギーが「幸福」という名の団体を通じて大勢の人々を支配する。**

以上が、この予言の正しい解釈になります。この解釈の内容は、全て実現しています。

ノストラダムスのこの予言は、100%的中したのです。

(※) 霊位については8-1. 霊位分布図 ご参照。

2. イエスキリストの再臨（真理の顕現）として設立された宗教団体です

ピラミッド形は、ユダヤ教の生命の樹のより正確な構造です。

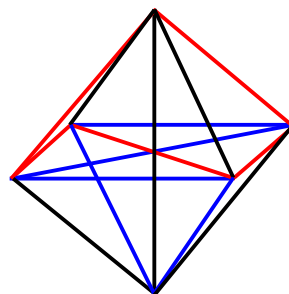
(5-1. 輝の会と生命の樹の関係 を参照願います)

ピラミッド形は磁界エネルギー（単磁荷エネルギー）生成装置であり、万物の創造原理です。また、ピラミッド形は密教の曼荼羅のより正確な構造でもあります。

(5-5. 輝の会と密教の関係 を参照願います)

ノストラダムスの予言で、真理が顕現されると説明しました。

この真理が具体的な形として現れたのが、ピラミッド形なのです。



このピラミッド形の基本構造（右図）

に私が気づいたのは、2000年12月31日午後1時です。

20世紀最後の日に、真理が天から私に授けられたのです。

「皆さんに伝えて下さい」

という神霊の声がその直後に響いてきました。

真理の顕現は、キリスト教のイエスの再臨を意味します。

20世紀最後の日に、イエスは再臨しました。

イエスの再臨（真理の顕現）として天より授けられる真理が、輝の会教義です。

この真理は、輝の会教義として、インターネットを通じて常時全世界に公開されています。

イエスの再臨として天より伝えられる真理の完成度を高めることは、輝の会の役割です。

（イエスは輝の会守護神です）

しかし、輝の会の教義はキリスト教の範疇には収まりません。

さらに広範囲な領域（仏教、科学理論、金融経済理論、医学等）を含む広大な内容が、輝の会教義なのです。

ですから、輝の会はキリスト教という立場ではありません。ご理解頂きたいと思います。

3. キリスト教の千年王国としても登場を予言されていました

キリスト教では、イエス再臨の後に千年王国に入るとされています。

(前千年王国説)

至福の千年間が訪れると考えられているのです。

但し、千年王国が何なのか、キリスト教徒の人々にも正しい内容は理解できていません。

千年王国は

「千年でも生きることができる世界」

を意味します。

生命エネルギーの発見により、寿命を自在にコントロールすることが可能になりました。

人が自らの寿命をコントロールできる時代が既に到来しています。

千年王国とは、この時代の到来を意味しているのです。

輝の会会長 滝沢輝は創造神界に到達しています。

創造神は、人の寿命を延ばすことが可能です。

輝の会では、会員に対して**延命・長寿サービス**を無料で実施しています。

会員に対して寿命を延ばすサービスを既に開始しているのです。

このように、キリスト教の千年王国は、輝の会の登場を予言していたのです。

輝の会には、どなたでも入会可能です。

入会により、長寿を楽しまれてはいかがでしょうか。

4. 史上最も理解度、完成度が高い宗教です 日本の不良債権問題を解決したのも輝の会教義です

4-1. 輝の会教義とは

- (1) イエス再臨（真理の顕現）として天より授けられる真理が、輝の会教義です。
- (2) 輝の会の教義を全て理解し、実践すると、天界に入ることができます。
- (3) 輝の会（2008年設立）登場以前に天界入りした地球人類は、20数名ほどしかいません。（阿弥陀如来、大日如来等が20数名に含まれます）
- (4) 輝の会登場以前の宗教教義を全て理解しても、天界入りできません。理解度が不十分なためです。それらの教義を唱えた教祖の方々（天界入りした20数名の方々）でさえ、教義をするだけでは天界入りできず、別途功德を積むこと（磁界エネルギーを蓄積すること）により天界入りを実現したのです。
- (5) 釈迦、イエスキリストを天界に導いたのは、輝の会です。
輝の会教義がその原動力です。
- (6) 輝の会の教義無しで、人類が天界入りすることは困難です。人類の霊位向上、社会発展を実現するため、輝の会の教義を人類全体に広める必要があるのです。

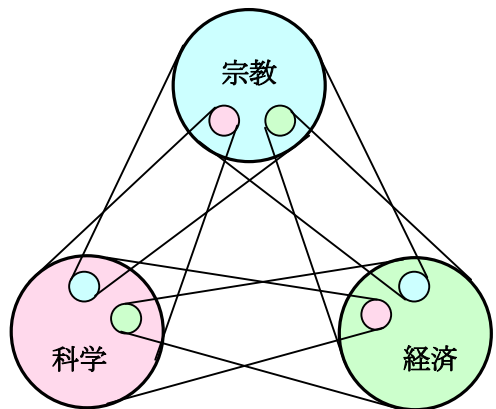
4-2. 輝の会教義概要

宗教、科学、経済は本来一体の理論です。

別々の学問として独立していたのは、それぞれの完成度が不十分なためです。

未完成なので、一体化できていなかったのです。

完成度を高め、一体化を実現することにより、宗教・科学・経済に対する理解度は格段に向上します。その結果、人々の行動様式が変化し、社会全体が調和します。この高度な理解・調和により、人類は飛躍的な発展を遂げることができるのです。



4-3. 宗教・科学・経済の関連

要点を一覧形式でまとめました。

著作はすべてホームページ (<http://taki-zawa.net>) で公開しています。

ぜひご一読頂きたいと思います。

	主な著作	主な内容	宗教・科学・経済間の関連
宗教	人類救済の基本原理	<p>霊位上昇速度を最大にする方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての人に平等に霊位上昇を行う ・全ての人に平等に積徳を行う (積徳量を最大にする方法) <p>磁界エネルギー (オーラ) 生成理論で生成した磁界エネルギーで、人類の霊位上昇、積徳を行う。</p>	<p><u>5次元理論を使用</u></p> <p>磁界エネルギー生成方法 (オーラ生成方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーラ発生装置 ・オーラを見る方法 <p><u>フラクタル経済理論を使用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての人の経済的豊かさが等しい時、経済発展速度は最大になる。
科学	5次元理論 第1巻 第2巻 第3巻 第4巻	<p>5次元は時間と空間を入替えた世界。内面世界である。</p> <p>世界は意識による認識処理結果。フラクタルである。(注)</p> <p>認識処理は脳で行う。認識する情報は全て脳内に存在する。よって人は宇宙大の脳 (認識処理結果) と頭部の脳、大小2種類の脳を常に同時に認識していることになる。</p> <p>よって、人と宇宙は同じものの別の見方である。</p> <p>素粒子で世界が構成されているという従来の物理学の考え方は、人が互いに分離してつながっていないという理論であり、誤りである。(2種類の脳を同時に認識している状態を説明できない)</p>	<p><u>人類救済の基本原理との関連</u></p> <p>霊位上昇速度・積徳量を最大にする方法が成立する理由は、世界がフラクタル (大小の同形構造) で構成されていることである。これは5次元理論の結論である。(注)</p> <p><u>フラクタル経済理論との関連</u></p> <p>貨幣制度を廃止し、仕事の価値が積徳量で保存されることが常識になると、人類は最も豊かになる。この時人類の霊位上昇速度 (磁界エネルギー蓄積速度) は最大となる。これは人類向上速度が最大になることを意味する (霊位上昇は人類の向上を意味する)。</p>

<p>経済</p>	<p>フラクタル 経済理論</p>	<p>貨幣を平等に分配するとき経済発展速度は最大になる。これは貨幣制度を廃止すると世界が最も豊かになることを意味する。</p> <p>バブルの原因は、将来CF（キャッシュフロー）の現在価値算出ロジックにおける、貨幣のフラクタル構造の見落しとしてである。</p> <p>貨幣のフラクタル構造を考慮すると、将来CFを価値の源泉とする証券の現在価値は0になる。よって証券制度（株式を含む）は廃止すべきである。（注）</p> <p>結局、証券を含めた貨幣制度を廃止することが、経済発展を最速にする方法なのである。貨幣制度廃止が、人類が最も豊かになる方法である。これが、人類の金融・経済・社会的差別や不公平を解消する唯一かつ最善・最高の方法なのである。</p>	<p><u>5次元理論を使用</u></p> <p>貨幣制度を廃止すると、仕事の記録方法が問題となる。しかし、5次元理論により全ての行為がその人自身に記録されることが明確になったため、仕事の記録は積徳量で判断可能である。</p> <p>その結果、貨幣制度廃止をためらう理由は何1つ存在しなくなったのである。</p> <p><u>人類救済の基本原則との関連</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての人に平等に積徳を行うと人類全体の積徳量が最大になる。これは貨幣制度を廃止した経済状態に一致する。貨幣制度を廃止すると積徳量が最大になるということは、社会発展が最速になることを意味するのである。
-----------	-----------------------	---	---

(注) フラクタルとは、大小の同形構造が無限に連なる構造のことです。

5-4-1. (2) (P23) を参照願います。

4-4. 従来の科学理論、経済理論の問題点と解決策

	問題点	正しい理論 (輝の会教義)
科学	<p>「世界は素粒子で構成されている」というのが、従来の科学理論。その結果、「自分自身と他者はつながっていない」という考え方が常識となっていた。この考え方では、他者に提供した価値がどこにも保存されないため、貨幣制度により価値を保存する必要があった。</p>	<p>5次元理論では、全ての存在は認識処理結果であり、フラクタル構造によりつながっていると説明。他者に提供した価値は自分自身の内面に記録される (徳の蓄積)。よって、貨幣は不要である。</p> <p>本来不要である貨幣制度を必須にしている点で、従来の科学理論は人類の金融・経済・社会的差別や不公平の本質的な原因となっているのである。</p> <p>5次元理論により科学理論を正すことが、金融・経済問題を解決するために必須なのである。</p>
	<p>原子力発電 (原子核を破壊してエネルギーを抽出する装置) が安全であるという主張。</p>	<p>「世界は素粒子で構成されている」という従来の科学理論の前提から、原子力発電 (原子核を破壊してエネルギーを抽出する装置) が開発された。しかし、世界はフラクタルであり、全ての素粒子は互いにつながっている。</p> <p>よって、原子力発電は人の肉体を破壊していることになる。原子力発電は可及的速やかに全廃すべきである。</p>
経済	<p>「貨幣保有により経済的価値の保存ができる」という常識。</p>	<p>貨幣保有はオプション権 (貨幣を使わない権利) の行使であり、消費の停滞を意味するため、経済発展の阻害要因である。(経済的価値の毀損要因である) フラクタル経済理論では、「経済的価値は取引の連続性の中に保存される」と説明。経済取引の連続性を最も円滑にする方法は、貨幣保有によるオプション権を廃止することである。</p> <p>経済理論の誤りを正すことにより、貨幣制度廃止という結論を導くことができるのである。</p> <p>経済取引は、取引者間の貨幣の流れで成立する。貨幣を保有して使わないでいると、取引によりその貨幣を他者が受取るまでの時間が長くなる。この長引いた時間分だけ、貨幣を受取る人の貨幣を使用する自由が阻害されることになる。他者の経済活動を阻害するため、貨幣を保有すると徳 (磁界エネルギー)</p>

		<p>は減少する。</p> <p>磁界エネルギーは人の活動エネルギーであり、これが減少すると寿命が縮む。貨幣保有は経済発展の阻害要因であるだけでなく、人類の短命化要因でもある。短命化防止のためにも貨幣制度廃止が必須なのである。</p>
	<p>「貨幣制度により貧富の格差ができるのは正しい制度である」という常識。</p>	<p>経済的豊かさを平等にする時、経済発展速度は最大になる。貨幣のフラクタル構造（経済取引がフラクタル構造の連鎖で行われること）から理論的に導かれた結論である。よって、貨幣制度により貧富の格差ができることは正しい制度ではない。貧富の格差を無くすためにも貨幣制度は廃止すべきである。</p>
	<p>証券制度（株式を含む）が正しいという常識。</p>	<p>将来CF（キャッシュフロー）の現在価値は、現在誰かが保有している貨幣である。既に価値が計上されているため、将来CFの現在価値は0である。従来の金融・経済理論では貨幣のフラクタル構造（回転構造）が見落とされており、将来CFの現在価値が過大に算出されている。その結果、証券制度（株式を含む）が正しいという誤った結論が導かれていたのである。</p> <p>しかし、将来CFの現在価値は0であり、これを価値の源泉とする証券の価値も0なのである。よって、将来CFを価値の源泉とする証券制度は廃止すべきである。</p>

4-5. 日本の不良債権問題を解決した輝の会教義

4-5-1. 「マイナス金利の導入」とは

日本経済再生のため、経済理論の再構築したのが、「マイナス金利の導入」という論文（輝の会教義）です（2003年）。

名目経済成長率と金利水準が一致するべきであることを理論的に解明しました。同時に1990年代以降の不景気、不良債権の原因が高すぎた金利水準であることの証明にも成功しました。

そして著述後に、日銀総裁、各種大臣、政治家、経済学者、マスコミ等へ送付しました。

その結果、金利水準を下げるべきだとの認識が国内に広まり、日銀の金融緩和枠の拡大等につ

ながら、現在の日本経済の安定をもたらしたのです。

尚、名目経済成長率と金利水準が一致するべきだとの本書の提言内容は、2004年6月の日本経済新聞記事にも記載されました。この原則を過去の経済状況に当てはめると、1991年以降、金利水準が高すぎたことが容易に理解できます。逆にいえば、従来の経済理論にこの内容が欠落していたため、90年代以降の不景気の原因を明確にすることが出来なかったと言えるのです。

以上から、不良債権や不景気は、金利水準を引き下げることにより、解消できることが容易に理解できます。これがそのまま財政再建にも直結します。

4-5-2. 「マイナス金利の導入」送付先一覧

送付年月	送付先（敬称略、役職は送付時点）
2003年7月	福井俊彦（日銀総裁）、竹中平蔵（金融担当大臣）、塩川正十郎（財務大臣）、平沼赳夫（経済産業大臣）、中曽根康弘（元首相）、故宮沢喜一（元首相）、菅直人（民主党代表）、石原慎太郎（東京都知事）、舛添要一（参院議員）、本間正明（大阪大学教授）、斎藤精一郎、森永卓郎、植草一秀、西川義文（三井住友銀行頭取）
2003年9月頃	朝日新聞社
2004年3月	日本経済新聞社、読売新聞社

4-5-3. 「マイナス金利の導入」送付による影響

年月	内容
2003年7月	東京都と銀行団による外形標準課税の裁判で、和解が成立。本書により、1990年代以降の不景気の原因が高すぎる金利水準であり、銀行経営者の責任ではないことが明確になったため、石原都知事が和解を指示したものと思われる（推測）。
2003年9月頃	政府の政策として、名目経済成長率2%（2006年度）が発表された。それまでの構造改革路線では、名目経済成長率は無視されていたが、本書によりその重要性が明確になったためと思われる。
2003年9月頃以降	朝日新聞の記事から、銀行批判と思われる内容が無くなる。それまで同社では、不景気や不良債権の原因が銀行経営者にあるとの立場を貫いていたが、本書によりその誤りが明確になったためだと思われる。
2003年10月	日銀が金融緩和の拡大を発表。景気回復下において、縮小を予想していた市場とは逆の政策を実施。本書により金利低下圧力が経済、財政の回復に必要であることを認識した日銀が、それを政策に反映させた結果だと思われる。

2004年3月	景気回復により、金融緩和の見直しを主張していた日本経済新聞社が、本書の送付後に意見を変更。金融緩和を認める記事を掲載。
2004年5月	「攻めの金融緩和」というタイトルで、金融緩和政策を賞賛。（日本経済新聞社）
2005年-2006年	経済財政諮問会議で長期金利と名目経済成長率に関する議論が行われた。経済運営における金利と名目経済成長率の重要性を政府に提言したのは本書である。

4-5-4. リーマンショックによる欧米諸国の不良債権問題の解決

世界各国がリーマンショック対策でとった低金利、高経済成長政策は、「マイナス金利の導入」で主張した政策です。

「マイナス金利の導入」を、竹中大臣（当時）をはじめとする主要な政治家や金融の専門家等に送付しました。その結果、1990年代以降の不良債権の原因が高金利にあるという理解が、日本全体に広まったのです。

そして、日本では2003年からこの低金利・高経済成長政策が実施され、不良債権問題の解決に成功しました。

欧米諸国は日本のこの経験を参考に、日本と同様の政策（低金利、高経済成長政策）をリーマンショック対策で実施しました。そして、

「日本の不良債権対策が参考になった」

ということで、日本は欧米諸国から大変に感謝されました。

これは輝の会教義「マイナス金利の導入」の内容が、欧米各国から評価されたということの意味しています。

その結果、リーマンショックによる経済破壊は最小限度で済みました。まさに輝の会が世界を救済したのです。

5. 教義は他宗教（ユダヤ教、キリスト教、ヨガ、仏教、密教、道教）の教義よりはるかに高い理解度に到達しています

5-1. 輝の会と生命の樹（ユダヤ教）の関係

5-1-1. 生命の樹

生命の樹とは、旧約聖書のエデンの園に植えられた木のことです。

ユダヤ教のカバラでは、この生命の樹の構造が説明されています。

縦3列の構造を「3本の柱」と呼びます。

中央が「均衡の柱」、右が

「慈悲の柱」、左が「峻厳の柱」です。

10個の丸をセフィラと呼びます。

神的属性を意味します。

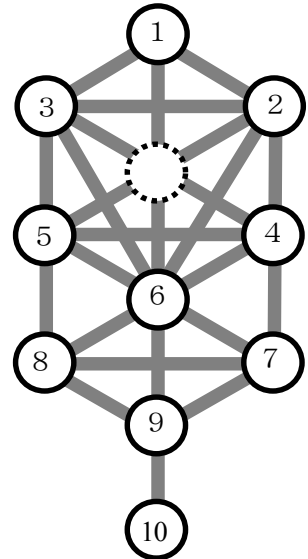
各セフィラの名称と属性は以下となります。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1：ケテル（王冠） | 2：コクマー（知恵） |
| 3：ビナー（理解） | 4：ケセド（慈悲） |
| 5：ゲブラー（神々しい力） | 6：ティファレト（美） |
| 7：ネツァク（永遠） | 8：ホド（威厳） |
| 9：イエソド（基礎） | 10：マルクト（王国）” |

番号の無い点線の丸は隠れたセフィラで、ダアト（知識）と呼ばれます。

ケテルより上の世界が神的世界であり、万物の創造は

ケテルから各セフィラへの神的流出で行われると考えられています。



5-1-2. ピラミッド形と生命の樹は同形構造

輝の会では、ピラミッド形（次ページ）の意識が世界の構造原理であると説明しています。

実はこのピラミッド形が、生命の樹と同形構造になっています。

生命の樹の番号に該当するピラミッド形上の頂点を次ページの図に記載しました。

上下方向のピラミッド1組で、1～6の頂点が構成されます。

このピラミッド形を図のように上下方向に連続させることにより、

認識像（世界）が構成されます。

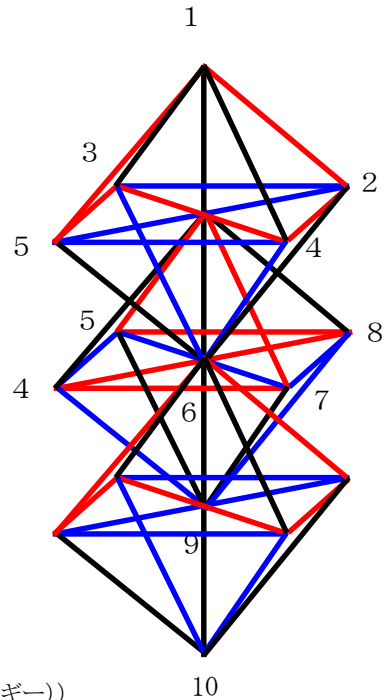
一方、生命の樹では、1～6の構造を下方向に連続させることにより、認識像（世界）が構成されます。

右図では10までしか記載されていませんが、実際には下方向に同形構造を連続させることにより、認識像（世界）が構成されます。

ですから、生命の樹とピラミッド形は、同形構造なのです。

右図では、4と5を2箇所に記載しました。

生命の樹ではピラミッド形の連続構造を平面構造として記載したため、本来2箇所ある4、5を1箇所にしか記載していないためです。



5-1-3. 生命の樹は磁界エネルギー生成構造

ピラミッド形に沿って意識を回転させると、磁界エネルギー（単磁荷エネルギー（人の活動エネルギー））を生成することが可能です。

（輝の会教義「5次元理論 第4巻」 ご参照）

ピラミッド形と生命の樹は同形構造だと説明しました。ということは、生命の樹は磁界エネルギー生成装置を意味していることとなります。

生命の樹という名称は、この構造が磁界エネルギー（人の活動エネルギー）を生成する装置であるために命名されたのです。

以上から、生命の樹の正しい形状は、ピラミッド形であることが分かります。

ユダヤ教の生命の樹のより正確な構造が、輝の界のピラミッド形なのです。

5-2. 輝の会とキリスト教の関係

5-2-1. キリスト教の教義

キリスト教の聖典といえば聖書です。聖書には旧約聖書と新約聖書があります。

旧約聖書は、ユダヤ教やイスラム教の聖典でもあります。

ここでは新約聖書（イエスの教え）の教義に関する説明を行います。

(1) 敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。(マタイによる福音書)
(2) あなたの頬を打つ者には、もう一方の頬をも向けなさい。 ・ ・ 人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。(ルカによる福音書)
(3) あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、皆の僕(しもべ)になりなさい。(マタイによる福音書)
(4) 富は天に積みなさい。そこでは虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。(マタイによる福音書) 金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。 (マタイによる福音書)

(1)(2) でイエスは無償・無差別の愛を説いています。太陽や雨のように、全ての人に平等に奉仕することの重要性を説いているのです。

敵に見える人に対しても、迫害する人に対しても、他の人に対するのと同じように奉仕すべきであると教えているのです。

(2) では、周囲の人々に与える影響が、自分自身に戻ることを説明しています。

(3) では、全ての人に奉仕する人が、最も霊位(内面世界の高さ)が高くなると説明しています。

(4) は現世の金銭や資産を目的として生きるべきではなく、徳を積むことを人生の目的とすべきであると説明しています。

「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」

では、大金を保有すると徳を失い、霊位がマイナスになると説明しているのです。

5-2-2. 輝の会とキリスト教の関係

ここでは輝の会とキリスト教の関係について解説します。

(1)(2) の無償・無差別の愛や、(3) の霊位が高くなる方法は、輝の会教義の中心である「人類救済の基本原則」と同じ内容です。

この中の「霊位上昇速度を最大にする方法」は、以下の内容です。

1. 全ての人々(全世界の人、祖先を含む)に対して、平等に霊位上昇を行う。
2. 全ての人々(全世界の人)に対して、平等に積徳を行う。

(6-3. 霊位上昇速度を最大にする方法) 参照

1、2 を行うと、霊位（注1）上昇速度が最大になります。短期間で高い天界に到達できるのです。

2 を行うと、積徳量が最大になります。同じ量の施しを行った場合に、自分自身に積まれる徳の量が最大になります。

（例えば1万円を寄付する場合、1人に1万円寄付するより、1万人に1円ずつ寄付する方が、積徳量は多くなります）。

このように、輝の会では、イエスの無償・無差別の愛の重要性や霊位が高くなる方法を、さらに詳細化・理論化して分かりやすく解説しています。

(2) について、輝の会では次のように説明しています。

「周囲の人々に影響を与えると、その影響は自身に戻ってきます。自身を構成しているのは、自身が周囲に与えた影響なのです。」（霊位上昇速度を最大にする方法）

(4) について、輝の会では積徳概念を経済制度に導入すべきであると主張しています。

また、お金（貨幣）制度は誤りであり、貨幣の無い社会が最も豊かな社会であることを理論的に証明済です。（輝の会教義「フラクタル経済理論」 ご参照）

輝の会では、霊位上昇・積徳量を増やすことを活動目的の1つとしています。

この点で、キリスト教と輝の会は目的が同一であることが分かります。

更に輝の会では、「オーラを見る方法」や「積徳量・霊位を見る方法」を公開しています。

〔 オーラを見る方法 <http://taki-zawa.net/tougou/syuu4.html>
積徳量・霊位を見る方法 <http://taki-zawa.net/tougou/syuu8.html> 〕

従来は見ることができないと思われていた霊位や積徳量の見方を公開し、金銭や資産などの現世利益とは別の価値観（永遠の価値）を人類全体に広げ、人類全体をより高度に発展させることが、輝の会の活動目的なのです。（注2）

「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」

は、貨幣を保有するだけで徳を失うことを意味します。

輝の会では貨幣はオプション（物やサービスを購入する権利）であると説明しています。

（輝の会教義「貨幣へのオプション概念の導入」 ご参照）

貨幣を保有することは、購入する権利を保有することです。これは一方では物やサービスを提供する義務のある人が常に存在することを意味します。常に人に奉仕させることになるため、

貨幣を保有し続けると徳を失うのです。貨幣を保有する期間が長いほど、また金額が大きいほど、多くの徳を失います。

以上の説明で、輝の会とキリスト教の教義が極めて近いこと、また、輝の会の教義はキリスト教の教義をより分かりやすく、正確に解説した内容になっていることをご理解頂けると幸いです。

キリスト教の内容をより正確に解説し、人類をより高度に発展させることは天意であり、輝の会が誕生した理由の1つなのです。

(注1) 内面世界における格のことです。霊位が高くなると、オーラが大きくなり、光が強くなります。輝の会では磁界エネルギー量で霊位を定義しています。

(8-1. 霊位分布図 ご参照)

(注2) 輝の会では霊位向上、積徳量増加、先祖供養を受付中です。希望者どなたでもお申込み頂けます。

(14. 開運受付中、15. 先祖供養・水子供養受付中 ご参照)

5-3. 輝の会とヨガの関係

5-3-1. チャクラ

ヨガでは体のエネルギーのポイントである「チャクラ」が存在すると考えられています。

人体にはチャクラが7箇所存在します。

右図の緑の丸がチャクラの場所を表しています。

チャクラの名称等は以下になります。

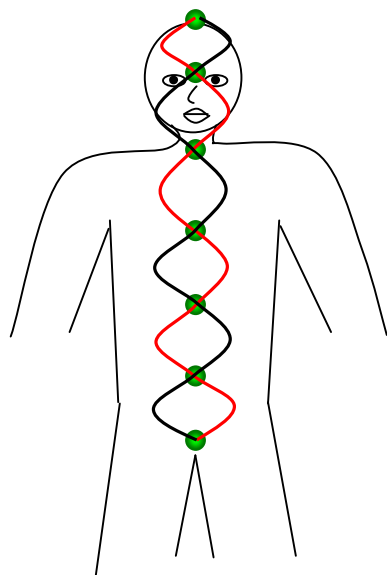
(右図の上から順に記載します)

1. サハスラーラ・チャクラ

頭頂に位置するチャクラ。

このチャクラを開放すると

宇宙と一体になり、自分の霊が肉体から離脱し、瞬時にどこへでも行けるようになると言



われています。

2. アジナ・チャクラ・・・眉間に位置し、第三の目と呼ばれているチャクラ。
3. ビスダ・チャクラ・・・のどに位置するチャクラ。
4. アナハタ・チャクラ・・・心臓のあたりに位置するチャクラ。
5. マニピュラ・チャクラ・・・ミゾオチとヘソの間に位置するチャクラ。
6. スワディスターナ・チャクラ・・・ヘソの下3～4cmに位置するチャクラ。
7. ムラダーラ・チャクラ・・・尾骨の先端に位置するチャクラ。

5-3-2. 天界はヨガの悟りの世界

ヨガの究極の目的は、頭頂部にあるサハスラーラ・チャクラを開放して、天と完全な一体感を得ることです。

実は、この一体感で到達する霊的世界が天界なのです。

天界に入るためには磁界エネルギー（ヨガのエネルギーとは、磁界エネルギーのことです）の蓄積が必要です。この蓄積をするための肉体的・精神的準備作業が、ヨガの体操等のトレーニングや瞑想なのです。

輝の会では、磁界エネルギーを生成する方法を理論的に確立しています。

(11-1. 磁界エネルギー（オーラ）発生装置 ご参照)

輝の会では、この理論により大量の磁界エネルギーを生成することにより、容易に天界入りすることが可能となっています。ヨガの悟りの世界に簡単に到達することが出来るのです。

輝の会会員は全員天界に到達しています。保有している磁界エネルギー量が、天界入り可能な水準に到達しているためです。

これは、ヨガの悟りの状態（サハスラーラ・チャクラが開放されて天と一体になった状態）を1日中実現したまま生活していることを意味します。常に天と一体化しながら生活しているのです。

また、輝の会本尊である輝の神は、天界のさらに上位の創造神界に到達しています。輝の神が会員を導いていることも、会員が常に天と一致しながら生活することができる理由です。

尚、ヨガの最高指導神霊は、天界の16段目に位置しています。

(天界については 8-1. 霊位分布図 ご参照)

ヨガの修行者は、この神霊の指導を受けながら悟りの境地を目指して修行を続けていることとなります。

ヨガの究極の目的である宇宙との一体化を常に実現しながら通常の生活を送るのが、輝の会会員の一般的な生活スタイルです。普通に生活しているのですが、常に天と一体化出来ている

のです。

しかし、ヨガほどの極端な修行は必要ありません。磁界エネルギーを蓄積すれば、誰でも悟りの境地に到達できます。

輝の会では磁界エネルギー生成理論を確立済なので、誰でも天界（悟りの世界）に到達することが可能なのです。

ヨガで悟りの境地に到達できない方には輝の会をお勧めします。

ヨガほどのトレーニングなしでも簡単に悟りの境地に到達できます。

ぜひお試しくださいと思います。

5-4. 輝の会と仏教の関係

5-4-1. 「空」の正しい理解

仏教で最も有名な経典は、般若心経です。

この経典は仏教の様々な宗派で使用されています。仏教を代表する経典なのです。

以下に、般若心経の一部を記載します。

〈摩訶般若波羅蜜多心経〉

観自在菩薩 行深般若波羅蜜多時 照見五蘊皆空 度一切苦厄

舍利子 色不異空 空不異色 色即是空 空即是色

受想行識亦復如是 . . .

下線部は空を説いた箇所であり、般若心経の中でも特に重要な部分です。意味は以下の通りです。

「物質は空にほかならず、空は物質にほかならない。物質は空であり、空が物質なのである。」

このように般若心経では、物の存在は空であると説いています。

しかしながら、空の意味がはっきりしないため、この経典だけで物質の本質を正確に理解することは困難です。

また、科学理論の「世界は素粒子の集合体である」という説明と矛盾しているため、どちらの教えが正しいのか判断に迷ってしまいます。

輝の会では、世界を次のように説明しています。

- (1) 世界は私たちが意識により認識した結果です。
(輝の会教義「5次元理論」ご参照)

- (2) 私たちは大小2つの脳（頭部と宇宙大の脳）を同時に認識しています。

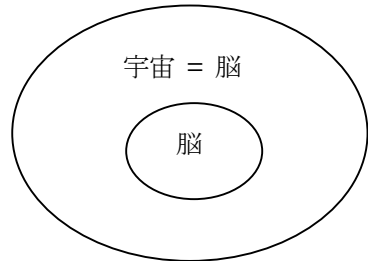
理由：認識のために、すべての情報は脳に集約されます。

ですから、世界（認識した結果）は脳で情報処理が行われた結果です。世界（宇宙全体）が脳で情報処理された結果であり、さらに頭部に脳があるのです。

大小2つの脳が存在するという事は、小さい脳を大きい脳と見なせば、小さい脳（頭部の脳）の中にも更に小さい脳が存在することを意味します。

このように、世界は大小の同形構造が無限に連なる構造なのです。

(点の中に空間が内包される構造)



よって、世界を素粒子（点）の集合体と説明する科学理論は誤りです。

(「5次元理論」(第1巻～第4巻)ご参照)

尚、大小の同形構造が無限に連なる構造のことを「フラクタル」と呼びます。

- (3) 認識処理は2意識（表面意識、内面意識）で行われます。

認識には主体（認識する側）と客体（認識される側）が必要です。

意識を2種類に分けることにより、私たちは認識を行います。この2意識が表面意識と内面意識なのです。

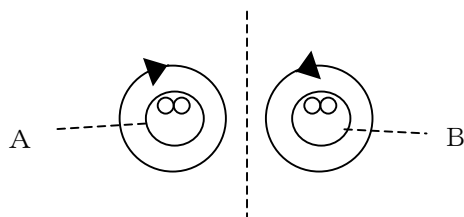
表面意識が通常の意識、内面意識が霊的意識を意味します。

ピラミッド形 (5-1-2. ピラミッド形と生命の樹は同形構造 ご参照) や2重円構造における赤、青が2意識（表面意識と内面意識）を表しています。

- (4) 表面意識と内面意識は互いに鏡に映したように逆回転します。

(「5次元理論」第3巻 鏡像原理 ご参照)

内面意識の世界を表面意識に映し出すことにより、私たちの世界は成立しているのです。



A→B の認識

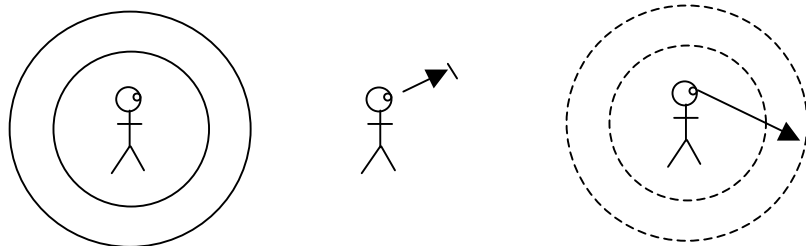
B→A の認識

〔 A, Bが表面意識、内面意識を表しています。
図の矢印はA, Bの自転を意味します。 〕

(5) 認識対象は認識する瞬間にだけ存在します。

世界は人が認識した結果です。

認識処理は全て同時に行われるのではありません。処理順序があります。



自身の周囲は常に物で囲まれているように見える。

実際には認識が行われる時にだけ認識対象を把握している。

認識処理が一通り終わると、周囲が物で囲まれているように感じるが、認識処理の瞬間にだけ把握した情報をつなぎ合わせているだけなのである。

認識対象は認識する時に存在すればいいのです。それ以外には存在しなくても、認識像全体（世界）を生成することができるのです。

実際、世界の構成要素は認識処理の時のみ存在しています。

私達は多くの物が存在する空間で生活していると感じていますが、実際には空虚な空間なのです。世界はほとんど空っぽなのです。

仏教で言う空とは、この意味でもあるのです。

以上の説明が、般若心経における空の本質的な意味です。

このように、輝の会では仏教の意味をより正確に解説しています。

仏教教義のより正確な解釈を行うことにより、仏教界の発展に貢献することも、輝の会の使命なのです。

5-5. 輝の会と密教の関係

輝の会では、ピラミッド形の意識が世界の構造原理であると説明しています(右図)。

上下を向いたピラミッドを多数連続させることにより、世界(認識像)は構成されています。

右図では上下3個ずつのピラミッドが描かれていますが、これが中心軸回りに無限個連なるのが本来の構造です。

赤、青は2意識(表面意識と内面意識)を意味します。(5-4-1-(3) 参照)

点A、点B、点C、点Dは認識のポイントを意味します。2意識あるため、赤が青を認識するケースと青が赤を認識するケースの2通りの認識が存在します。

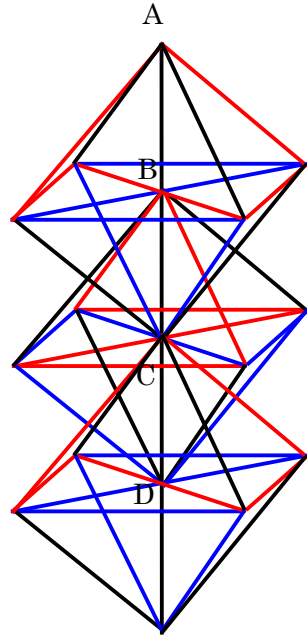
赤が青を認識するケースを説明します。点Aを中心とする認識では、ピラミッド底面の4頂点と点Bを認識します。点Bを中心とする認識では、ピラミッド底面の4頂点(点Cと同じ高さの4頂点)と点Cを認識します。

青が赤を認識するケースでは上下関係が逆転します(下の点が上の点を認識します)。この2通りの認識を重ね合わせて認識像が生成されるのです。

ピラミッドの中心軸(A, B, C, Dを通る線)は意識の軸です。この軸の回りを意識が回転することによって認識は成立します。

赤→青、青→赤の認識では、上下の方向が逆転するため、中心軸回りの回転が互いに逆回転になります。この2種類の認識を重ね合わせて認識が成立するのです。

中心軸を集約する(認識ポイントを1点に集約する)ことにより点A、点B、点C、点D、・・・を中心とする認識を重ね合わせた認識像を生成できます。これが私たちの認識であり、世界全体なのです。



点Aを中心とする認識、点Bを中心とする認識のどちらも、世界全体に対する認識です。(中心軸を通じて全体がつながっているため)。

よって、点Aを中心とする認識の中に点Bが存在することは、点Aの認識(世界全体)の部分(点B)に世界全体が内包されることを意味します。

これはフラクタル(無限に連なる大小の同形構造)です。フラクタルが世界の構造原理なのです。

次に密教の教義について説明します。

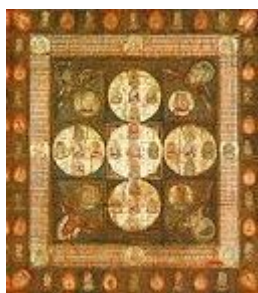
密教の教義で最も重要なのは曼荼羅です。金剛界曼荼羅と胎蔵界曼荼羅の2種類存在します。



金剛界曼荼羅



胎蔵界曼荼羅



金剛界曼荼羅は、(縦3個×横3個)の9つの枠で構成されています。

中心の枠(左図)を見ると、十字に配置された大きい円5個と、斜め方向の小さい4個の円の合わせて9個の円(縦3個×横3個)が配置されています。

9個の枠(縦3個×横3個)の中の1つの枠に、9個の円(縦3個×横3個)が同じ形で配置されていることとなります。大小の同形構造(3×3の9個の要素の大小連続構造)ですから、これはフラクタルを意味していることとなります。

大きな円5個それぞれの中には、更に小さい円が5個十字に描かれています。これは大きい円と同形です。これもフラクタルを意味します。ピラミッド形で説明した通り、世界はフラク

タルで構成されています。この点で輝の会と金剛界曼荼羅は全く同じ内容を説明していることになるのです。

9個の円の内、縦横の5つが大きく、斜めの4つが小さい理由は、9個の円が2種類の円の組み合わせで構成されているためです。この組み合わせとは、(中心の円と縦横の4つの円)と(中心の円と斜めの4つの円)の2種類です。

この2種類の円の組み合わせは、ピラミッド形の2種類の認識(赤→青、青→赤)に該当します。ピラミッド底辺の正方形が金剛界曼荼羅周囲の4つの円に該当します。また、ピラミッド形の中心軸上の点が、中心の円に該当するのです。

ピラミッド形で説明した通り、認識はこの2種類の認識を重ね合わせて成立します。これが、縦横の円と斜めの円の組み合わせとして金剛界曼荼羅に描かれているのです。



胎藏界曼荼羅の中心には9種類の如来や菩薩が描かれています。(左図)。

中心が大日如来であり、周囲がその他の如来・菩薩です。

この中心と8種類という組み合わせは、金剛界曼荼羅における2種類の円の組み合わせと同じ構造です。

以下の説明では、左図の如来・菩薩を円と表現します。

中心円と周囲8つの円から4つの円(1つ置ききの4つの円)を組み合わせると、2種類の組み合わせができます。これは金剛界曼荼羅で説明した5個ずつの2組の円と同じ構造です。

以上の説明から、上図は互いに逆方向の認識を重ね合わせた認識を意味することが分かります。2つの曼荼羅は共に世界の構造原理を意味しているのです。輝の会のピラミッド形は、この内容をさらに正確に表現しています。

既に史上最高レベルの理解度に到達しているのです。

5-6. 輝の会とユダヤ教の関係

ユダヤ教で有名なのは、六芒星(ダビデの星)です。(図1)

正三角形2つの組み合わせで構成されている図形です。イスラエルの国旗にも使用されています。

この六芒星をより正確に表現したのが、4重円構造です。(次ページ図ご参照)

4重円構造は、同じ大きさの4つの円で構成されます。中心に1つの円があり、その円周を中心とする3つの円が配置されます。

3つの円の中心を結ぶ線分は、正三角形になります。

中心の円と周囲の3つの円は、互いに逆方向に回転します。3つの円は同方向に回転します。

下図では、赤を反時計回り、青を時計回りとしています。

前後方向に 180° 、上下方向に 180° 回転して図2を見ると、図3になります。

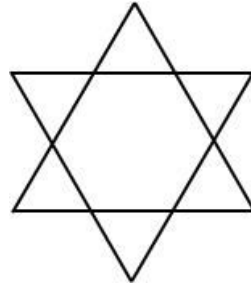


図1. 六芒星 (ダビデの星)

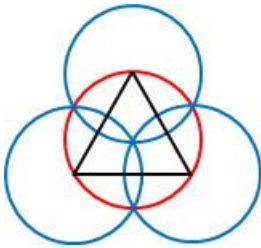


図2

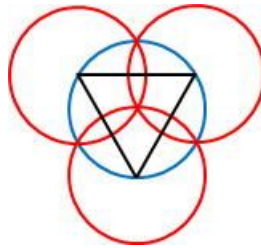


図3

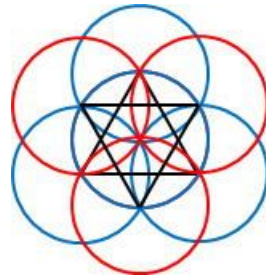


図4

4重円構造 (図2～図4)

5次元理論 (輝の会教義) では、このように2方向に 180° ずつ回転した状態を重ね合わせて認識像が生成されると説明しています。

図2と図3を重ねると、図4になります。これが4重円構造の認識像になります。

(赤円と青円を重ねて中心の円が構成されています)

この図では、互いに 180° 回転した関係にある2つの正三角形が現れます (黒線)。これは六芒星を意味します。

以上の説明から、六芒星の本質的な意味は以下の内容だということが理解できます。

「互いに逆方向の認識像 (180° ずつ2方向に回転した認識像) を重ね合わせて世界 (認識像) が構成されている。」

4重円構造が、六芒星の意味をより正確に表現しているのです。

また、4重円構造を用いて磁界エネルギー (オーラ) を発生させることが可能です。

(11-1. 磁界エネルギー (オーラ) 発生装置 ご参照)

尚、4重円構造は2重円構造を複数組み合わせ合わせた構造です。認識像生成に必須の構造なので

す。

(5-7. 輝の会と道教の関係)で、大極図と2重円構造が同じであることを説明しています。2重円構造を組み合わせた4重円構造と、六芒星(ダビデの星)が同じ意味であるということ、大極図と六芒星が同じ内容であるということの意味しています。

輝の会の教義を通じて、道教とユダヤ教の教義がつながるのです。

世界の正しい宗教は全て同じ内容を説いています。これを明らかにすることも、輝の会の使命なのです。

5-7. 輝の会と道教の関係

道教のシンボルとして有名なのが大極図です。

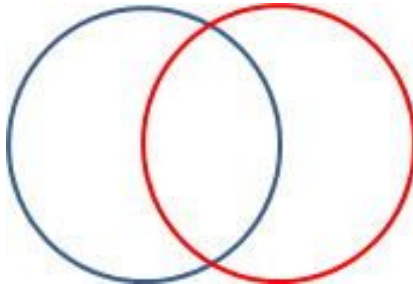
黒が陰、白が陽を意味します。陰陽の組み合わせで世界が構成されていることを意味しているのです。

この大極図をより正確に表現したのが、2重円構造です。

2重円構造は、2意識(表面意識と内面意識。5-4-1-(3)ご参照)の組み合わせで世界が構成されることを意味しています。また、表面意識の中心が内面意識であり、内面意識の中心が表面意識という構造が、大極図の「白の中心が黒、黒の中心が白」という構造と一致しています。



(大極図)



(2重円構造)

2重円構造では、鏡像原理が成立します。表面意識と内面意識が鏡で映したように反対方向に回転することを鏡像原理と呼びます。

大極図では、外側の円の中心点から白と黒が対称形になっています。これが2重円構造の鏡像原理に該当しているのです。

大極図は、世界の構造原理を部分的に把握した人が描いたと思われるが、2円が互いに重なり合うところまでは理解出来ていなかったと推察されます。

輝の会の教義は、世界中の様々な教えや科学理論等をさらにレベルアップした内容になっているのです。

尚、大極図からは神霊のオーラが放射されています。この方は荘子です。荘子が道教の最高指導神霊なのです。

6. 人類全体の霊位上昇、積徳量増加を行うことにより、社会の調和・発展に貢献しています

6-1. 全ての人に徳を常時提供し続けています

輝の会は人類の完全調和実現のために、全ての人に徳（活動エネルギー）を提供し続けています。（休みなしで提供し続けています）

もちろん、本文をお読み頂いているあなたにも、徳を提供し続けています。

その結果、人類全体が非常に若返っています。

お年寄りに元気な方が増えた最大の理由も、輝の会から提供する徳なのです。

輝の会では徳の提供により、全人類の霊位上昇、積徳を行っています。

これが人類の完全調和実現に最も有効な方法なのです。

6-2. 人類救済の基本原理

人類救済のための原理・原則について説明します。

救済とは何なのでしょう。人類は天界から放射された光です。天界は調和の世界ですから、社会は本来調和で満たされているはずですが。

しかし、現実には様々な不調和で混乱しているように見えます。なぜ不調和になるのでしょうか。

最大の原因は、社会全体に対する無理解だと思われます。人類、社会全体に対する正しい理解がないまま活動しているため、不調和な想念（業念）を発したり、不調和な行為を行ってしまう場合があるのです。また、制度矛盾に気づいていないため、社会が不調和になっている場合もあります。

人類全体の業想念の影響もあります。人類全体を覆う歪んだ想念の悪影響で、本心ではない言動を行ってしまう場合があるのです。

従って、人類を本来の調和した状態に戻すためには、社会全体に正しい理解を広めることと、業想念を除去することが、共に重要ということになります。

ここでは、両者（業想念除去、正しい理解）を実現する方法について説明します。

業想念は天界の光を当てると消えます。業は実在しないのです。よって、天界（実在の世界）の光で消えてしまうのです。

人が発する光の強さは、霊位により異なります。霊位が高い人ほど光が強くなります。光を発することにより、業を消去します。この時、業消去により徳が与えられます。この徳により、自身以外の人々の霊位を高めます。すると、自分自身の霊位が上昇します。霊位が上昇すると、光が強くなります。業を消去するスピードが速くなるのです。よって、業の消去と自分以外の人々の霊位上昇を継続して行うことにより、自分自身や人類全体の霊位が飛躍的に向上することになります。結果として人類全体の光が強くなり、業想念が全て消えてしまうのです。

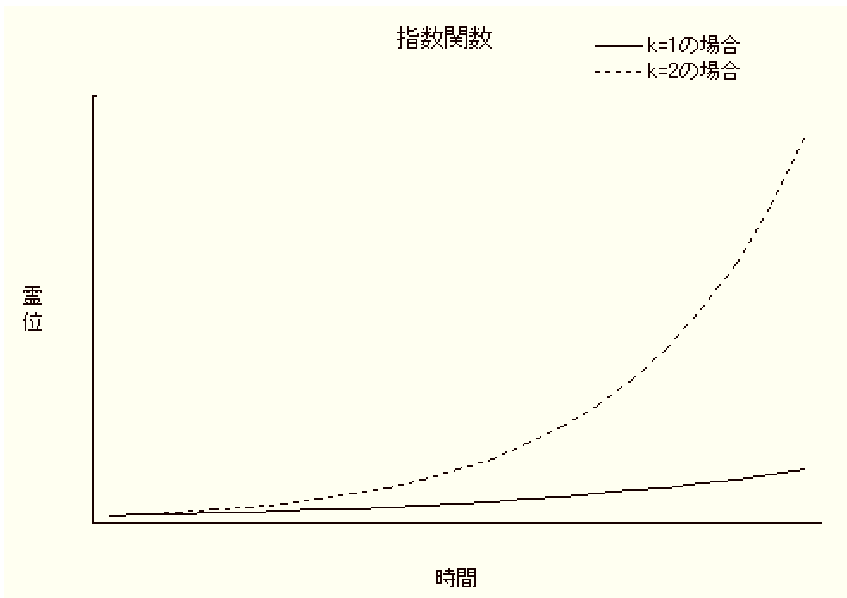
霊位（ある人が発する光の強さ）を $E(t)$ とします。

霊位は業の消去により上昇します。この霊位の変化率は霊位（光の強さ）に比例します。

$$dE/dt = k \times E \quad \dots (1)$$

（左辺：霊位の変化率、 t は時間。 右辺：定数 k × 霊位・・・霊位に比例するの意）

$$E = a \times \exp(k \times t) \quad \dots (2)$$



(2) は(1) の微分方程式の解になります。 $\exp(k \times t)$ は、 e の $(k \times t)$ 乗という意味です。

(e は自然対数の底 2.718・・・)、 a は定数になります。

以上から、業の浄化と自分以外の人々の霊位上昇を同時に行うと、霊位 (E) は指数関数的に

上昇することになります。

E（霊位）が指数関数ということは、時間の経過と共に霊位は無限大といえるほど上昇するということを意味しています。

6-3. 霊位上昇速度を最大にする方法

人類救済の根本原則では、霊位上昇が指数関数に大きくなることを示しました。しかし(1)(2)式のkの値によっては、指数関数の効果は大きく異なります(kが大きくなると、霊位上昇が速くなる)。

自分以外の人々の霊位を向上させる方法によって、霊位の向上速度が違います。

霊位上昇速度が最大になる方法は、以下になります。

1. 全ての人々（全世界の人、祖先を含む）に対して、平等に霊位上昇を行う。
2. 全ての人々（全世界の人）に対して、平等に積徳を行う。

1. の霊位上昇は内面意識（心、魂）の向上を意味します。

2. の積徳は表面意識（通常の意識）への徳光（創造力、活動エネルギー）の蓄積を意味します。

内面意識と表面意識の光のバランスを保つことが、長期間の安定した向上に必要なのです。

先祖など、この世界を卒業された方々は、内面意識を通常の意識として活動しているため、表面意識（私たちの通常の意識）への徳の蓄積という考え方が存在しません。よって、2の積徳対象に、祖先は含まれていないのです。

霊位上昇、積徳を自身以外の人に対して行うためには、自分自身で徳を積み、それを自分以外の人々に提供しなければなりません。

まず自身で徳を積む必要があるのです。この努力なしには、何ごとも始まりません。

この方法が霊位上昇に最も効果があるのは、世界の構造原理から説明可能です。それは、世界がフラクタル構造でできているという点です。

フラクタルとは、大小の同型構造です。点に宇宙が内包されている構造です。

(5-4-1. (2) (P23) ご参照]

全ての存在は、互いに内包しあっているのです。Aさんは宇宙を内包していることになります。Bさんも宇宙を内包しています。AさんはBさんを内包しています。BさんもAさんを内包しています。私たちは、互いに周囲の人々を内包しあっています。共有関係で成立しているのです。

また、世界は回転構造で成立しています。無限遠の点は、自分自身なのです。自身から始まり、自身で終わる、これが世界の構造なのです。世界とは、自身の意識で映し出した結果なのです。

周囲の人々に影響を与えると、その影響は自身に返ってきます。自身を構成しているのは、自身が周囲に与えた影響なのです。ですから、周囲の人々に積徳を行うと、それがそのまま自身の積徳になるのです。周囲の人々の霊位を上昇させると、自身の霊位向上につながるのです。

逆に言えば、一人で霊位向上を図るのは不可能ということになります。

山ごもりの修行で悟りを開こうとする場合、背後で指導神霊が修行者を導いているのです。修行の成果は、指導神霊の導きが無ければ不可能です。神霊は、修行者を導くことにより、神霊自身の霊位が向上することを知っているのです。結局、山ごもりの修行を行っても、一人で修行しているわけではないこととなります。

全世界の人々を平等に導く必要がある理由は、積徳の効果が最も大きくなるためです。人々は自分自身を互いに共有しあっています。徳光を与えると自分自身に返ってくるのは、徳光を共有しているためと考えることができます。この共有において、人数が増えるほど、共有するパターンが増加し、全体の積徳量が増えるのです。人類全体で徳光を共有すると、全体の積徳量が最も多くなります。ということは、周囲に与える積徳量が最大になることを意味しています。これは、自身の積徳量が最も多くなることを意味しているのです。

霊位上昇についても同様です。多くの人の霊位上昇を行うほど、自身の霊位上昇速度は速くなります。人数が減るほど、霊位上昇速度は遅くなります。ですから、常に全ての人々を平等に導く必要があるのです。

6-4. 霊位上昇速度を最大にする方法の理論的根拠

霊位上昇速度を最大にする方法は、次の内容です。

1. 全ての人々（全世界の人、祖先を含む）に対して、平等に霊位上昇を行う。
2. 全ての人々（全世界の人）に対して、平等に積徳を行う。

この方法で霊位上昇速度が最大になる理論的根拠について解説します。

積徳には、認識処理と同様に処理の順番があります。全てが同時に行われるわけではないのです。

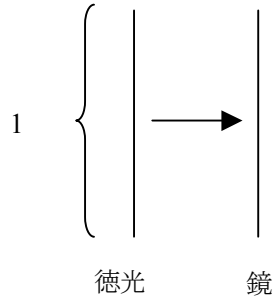
世界は鏡で映したように無限回の複写（内面意識のイメージを表面意識に映し出すこと）に

より成立しています。これを鏡像原理と呼びます。積徳時にもこの原理が成立します。
 以下、積徳時の処理の順番及びその内容について説明します。

(1人に徳光を与える場合)

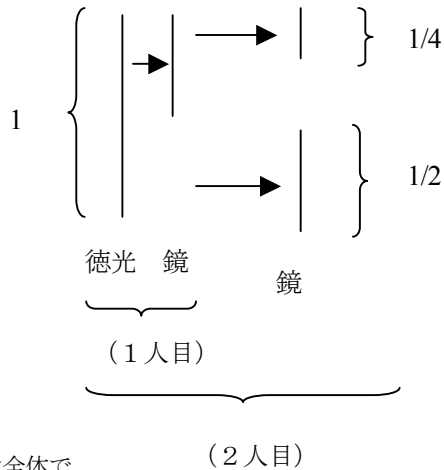
1の徳光を1人に与える場合を考えます。
 徳光を与えると、自身に戻ってきます。
 その結果、徳光は全体で
 $1 + 1 = 2$
 になります。

これは以下のように考えることが可能です。
 鏡を1枚用意して、徳光を映します。
 すると、徳光が2倍に見えます。鏡が徳を
 与えた状態を意味します。



(2人に徳光を与える場合)

2人に徳光を与える場合、
 1人ずつ順番に処理が
 行われます。
 まず1人に $1/2$ の徳光を
 与えます。これは自身に
 返ってくるため、徳光は全体で
 $1 + 1/2$
 になります。



($1/2$ を鏡で写したと考えます)
 次いで、この徳光全体の $1/2$ を
 2人目に与えます (鏡に写します)。
 これも自身に戻ってきます。徳光は全体で
 $(1 + 1/2) (1 + 1/2) = 9/4 = 2.25$
 となります。(1人に与える場合は全体で2、2人に与える場合は2.25になる)

(n人に徳光を与える場合)

n人に徳光を与える場合、1人ずつ順番に処理が行われます。
 まず1人に $1/n$ の徳光を与えます。($1/n$ は鏡で写します)
 すると、徳光は全体で
 $1 + 1/n$
 になります。

次いで、この徳光全体の $1/n$ を 2 人目に与えます。(鏡に写します) 徳光は全体で $(1+1/n) (1+1/n)$

になります。以下、この処理を繰り返します。 n 人全体に徳光を与えると、徳光は全体で $(1+1/n)^n$

になります (n は n 乗の意味)。

ここで、 n を無限大にします。徳光は全体で

$$\lim_{n \rightarrow \infty} (1+1/n)^n = e$$

(e は自然対数の底、 $2.71 \dots$)

になります。

以上から、徳光を与える人数が増えるほど、徳光が多くなることが理解できたことになります。

上記はある 1 処理における徳光の増加割合です。処理を t 回継続する場合、徳光の増加率は以下になります。

1 人にあたえる 2^t

2 人にあたえる 2.25^t

全人類に与える e^t

2、2.25、 e にはそれほど差がありません。しかし、これらの値を繰り返し掛け続けると、莫大な差が生じることになります。

例えば、 t が 10 の場合を考えます。

$$2^{10} = 1024$$

$$2.25^{10} = 3325. \dots$$

$$e^{10} = 22026. \dots$$

このように、10 乗するだけで、1 人に徳を与える場合と全人類に与える場合では、積徳量に 20 倍以上の差が生じるのです。

積徳を長期間続ける場合、与える人数によって積徳効果には雲泥の差が生じるのです。

人類救済の基本原則、霊位向上速度を最大にする方法には、このように明確な理論的根拠があるのです。

7. 既に48億人の方を天界に導きました。(2012.3.31 現在)
 尚、輝の会登場以前に天界入りした地球人類は20数名のみでした。
 (阿弥陀如来、大日如来等が該当します)
 地球人類全体(31兆人:霊界を含む)の天界入りを目標に活動しています。

7-1. 輝の会の活動実績

宗教とは人を天に導き、実生活を豊かにするために存在します。
 救済者数は821億人です。キリスト教の実績を上回りました。
 (他界された方が対象。2012.3.31時点)

(表1)

	救済者数 (万人)	天界 への導き	徳 提供量 (注)	積徳量 (注)	土地占有による 失徳量 万(人・年)	
					通算	2011年
輝の会	8214754	486726 (万人)	4866	35246746	0	0
キリスト教	3163467	0(人)	1746	48461	76346	173
仏教	28788	4(人)	367	864	1167	14
神道	11462	0(人)	268	367	883	8
新宗教	2681	0(人)	236	562	36	1

(注)単位は万(人・年)。

(人・年)は18歳前後の平均的な人が1年間に天より頂く徳(磁界エネルギー)の量。

天界への導きは、天界へ導いた人数です。(天界は守護神霊の世界です)

48億人を天界へ導きました。(他界された方が対象。2012.3.31時点)。

他宗教では実績が皆無に近いため、ほぼ全員を輝の会が導いている状態です。他の宗教では、開祖が天界入りしていないケースがほとんどであり、天界に導くことができません。

輝の会(2008年設立)登場以前に天界入りした地球人類は20数名ほどにすぎないのです。

徳提供量とは、世界の人々に与えた功德の量を意味します。

(2012.1.1~2012.3.31の実績。有料、無料両方を含みます)

(人・年)は徳の単位です。18歳前後の人が1年間に天から頂く徳(磁界エネルギー(活動エネルギー))を1とする単位のことです。

表には神社・仏閣等への初詣により頂いた功德等も全て含んでいます。

輝の会は世界の人々に提供した功德の量でも、キリスト教や仏教を超える働きをしています。

積徳量は、徳の蓄積量です。(2012. 3. 31 時点)。輝の会が圧倒的に多い状態です。

キリスト教、仏教、神道などは、様々な面で社会的な評価を受け続けています。不動産の所有等もこの評価に含まれます。

また、信者が多いということは、それだけ多くの人々から評価されていることを意味します。しかし、評価されると徳を消費します。

その結果、キリスト教、仏教、神道等では積徳量が増えにくいのです。

積徳量が増えにくいということは、救済力がそれだけ弱くなることを意味します。

積徳量の多い宗教ほど、救済力が強いのです。

輝の会の多大な積徳量は、他宗教より救済力が強いことを意味しているのです。

土地占有による失徳量は、宗教施設が土地を占有することにより失った徳の量を示します。(過去全期間分)。

土地は本来万人の共有物であるため、これを占有すると徳を失います。

広大な土地を占有する宗教は、莫大な徳を失っています。

輝の会はインターネット専用の宗教です。

神社や仏閣のように広大な土地を使用せずに宗教活動を行うため、土地活用になんら影響を与えません。そのため、社会が円滑に発展することになります。

宗教に広大な土地は必要ありません。輝の会はインターネット専用であり、従来の宗教のように広大な土地を使用しないため、土地活用を一切阻害しません。これが他宗教より積徳量が多い主な理由の1つなのです。

輝の会は土地利用なしで宗教を広めているため、他宗教より社会発展に貢献しています。その分積徳量が多くなります。

これが、インターネット専用で宗教活動を行う主な理由の1つなのです。

救済力(天に導く力、人を助ける力)、功德(社会生活を豊かにする力)、いずれにおいても、輝の会はすでに大宗教であるキリスト教、仏教、神道より大きな働きをしているのです。

7-2. 新宗教の活動実績

新宗教の活動実績をまとめました。

(表1)で新宗教として記載した内容の詳細になります。

救済者数、天界への導き、徳提供量、積徳量の意味は(表1)と同じです。

徳提供量、積徳量のハイフン「-」は、マイナスの値を意味します。

(表1)の新宗教の徳提供量、積徳量は、ハイフンを0として合計した値です。

	救済者数 (万人)	天界への 導き(人)	徳提供量 (注)	積徳量 (注)
幸福の科学	0	0	-	-
創価学会	0	0	-	-
立正佼成会	367	0	36	145
霊友会	297	0	32	77
天理教	284	0	26	67
P L 教団	237	0	23	56
真如苑	226	0	21	47
世界救世教	216	0	17	37
崇教真光	207	0	16	32
生長の家	194	0	14	30
世界基督教統一神霊教会	0	0	-	-
天照皇大神宮教	178	0	13	25
金光教	156	0	12	21
神慈秀明会	135	0	11	14
阿含宗	0	0	-	-
善隣教	0	0	-	-
世界真光文明教団	98	0	8	6
ものみの塔聖書冊子教会	0	0	-	-
大本	86	0	7	5
GLA 統合本部	0	0	-	-

(注)単位は万 (人・年)。

(人・年) は 18 歳前後の平均的な人が 1 年間に天より頂く
徳 (磁界エネルギー) を 1 とする単位です。

〔 新宗教とは、(週刊ダイヤモンド 2010.11.13 号) に
20 大新宗教として記載された団体のことです。 〕

8. 全ての人の霊位、積徳量を公開しています

8-1. 霊位分布図 (2012.1.24 時点)

霊位	段階	磁界エネルギー (人・年)	人数分布 (世界全体)	該当者
全体意識	-	-	-	
創造神界	-	49.6 億～	1 (人)	滝沢輝 (輝の会会長)
天界	16～37	125,449 ～	0 (人)	太陽神、地球神
	11～15	11,313 ～	3 (人)	ゼウス
	6～10	1,020 ～	3 (人)	
	2～5	149 ～	63 (人)	大日如来、阿弥陀如来
	1	92 ～	126 (万人)	イエス
霊界 4	5～8	13 ～	4855 (万人)	
	4	8 ～	15600 (万人)	
	3	5 ～	57460 (万人)	
	2	3 ～	137000 (万人)	
	1	2 ～	188000 (万人)	
霊界 3	4～5	0.7 ～	114900 (万人)	
	1～3	0.2 ～	31090 (万人)	
霊界 2	1～5	0.02 ～	15200 (万人)	
霊界 1	-	0 ～	667 (万人)	
地界	-	～ 0	144000 (万人)	

※磁界エネルギーの単位は (人・年) です。

これは、18歳前後の人が天から供給される1年分の磁界エネルギー量 (単磁荷エネルギー量 (活動エネルギー量)) を1とする単位です。

全世界の人々の霊位分布図を作成しました。(2012.1.24 現在)

霊位とは魂 (内面意識) の格の高さのことです。内面意識の磁界エネルギー蓄積量で定義できます。霊位は肉体界卒業後に活動する世界の格の高さを意味しているのです。

霊位は更に細かい段階に分かれています。天界は37段の世界で構成されています。

1段の霊位差で、磁界エネルギー量は ϕ (黄金分割比) 倍になります。

最も高い霊位は全体意識です。全ての人の意識は、全体意識から発生しています。この意識に、様々な神霊の意識を重ね合わせるにより、私たちの個人としての意識が成立しているのです。

2番目に高い霊位は、創造神界です。創造神界については(9-1. 創造神界)を参照して下さい。

次に高い世界は天界です。天界は守護神霊の世界です。この世界に入ると、個人や団体の守護神霊として働くことが可能になります。

輝の会登場により、既に100万人以上の人々が天界1段目に到達しています。また、全世界の人々の平均霊位は霊界4の1段目に到達しています。(滝沢輝は除外して計算しています)。

その理由は、輝の界の教義である「人類救済の基本原理」の普及にあります。

(6-2. 人類救済の基本原理 ご参照)

この原理で人類全体の霊位上昇を行った結果、人類は大幅な霊位上昇を遂げることができたのです。(輝の会発足前に天界入りした人類は30人未満でした。また、霊界4に到達している人も殆どいない状態でした)

霊位4、霊位3、霊位2、霊位1は修行中の方々の世界です。

霊界4を卒業すると、天界入りし、守護神霊として働くことが可能になります。

地界は、内面意識の磁界エネルギーがマイナスの人々の霊位です。

何らかの理由で徳(磁界エネルギー)を失い、霊位がマイナスになっている人々が、この世界に位置しているのです。

8-2. 積徳量分布図 (2012.1.24 時点)

積徳量 (人・年)	人数分布 (世界全体)	該当者
100億～	1(人)	滝沢輝(輝の会会長)
100万～100億	0(人)	
1万～100万	2(人)	
1000～1万	2(人)	イエス(幼少期)
100～1000	267(人)	釈迦(幼少期)
50～100	157(万人)	
10～50	84006(万人)	
5～10	96300(万人)	
0～5	186600(万人)	
-5～0	177400(万人)	
-10～-5	78700(万人)	
-50～-10	85804(万人)	
～-50	0(人)	

積徳量とは、霊位と逆方向（肉体活動方向）の徳（磁界エネルギー）の蓄積量のことです。

イエス、釈迦、空海、ニュートン、アインシュタイン等、偉人と呼ばれる人々は皆、生まれつき100（人・年）以上の徳（磁界エネルギー）を保有していました。

この徳が形に表れた結果、人類史上まれに見る偉大な成果を残すことができたのです。

逆に、徳が無ければ成果を残すことは不可能でした。

積徳量が多いほど、より幸せや成功に満ちた人生を送ることができるのです。

- 9. 本尊は輝の神（かがやきのかみ）です。輝の神は史上初めて創造神界入りした神霊（創造神）です。**
（創造神界は、天界（守護神の世界）より上位の世界です）

9-1. 創造神界

輝の神（輝の会本尊）は2011年11月に創造神界入りを果たしました。

輝の会守護神の多くが創造神界入りしています。

従来、創造神が直接指導する宗教は存在しませんでした。

輝の会が、史上初めて創造神が直接指導する宗教となったのです。

創造神界とは、天界の上位に位置する世界のことです。この世界の神霊を創造神と名付けることにします。

創造神界には、形がありません。形を創造する世界が、創造神界なのです。

形の世界は全て創造神が原形を構成しています。この原形に基づいて、世界は構成されているのです。

創造神界は、絶対理念の世界です。創造神は根本原理（理念）を構築することができるのです。この原理に基づいて宇宙は構成されているのです。

創造神の特徴は、人の活動エネルギーを自由にコントロールできることです。寿命のコントロールも可能です。

宇宙の創造は、創造神の役割です。宇宙と人は同じものの別の見方ですから、宇宙の創造とは人の創造になります。人の創造も創造神の役割なのです。ですから、創造神は人の寿命をコントロールできるのです。

天界は創造神界と比べると調整役という位置付けになります。創造神による絶対理念に基づいて働くのが天界神霊の使命なのです。

天界の神霊は宇宙を創造することができません。また、人の寿命を根本的に変更することも

できません。しかし、寿命を調整する（多少延ばす）ことは可能です。
役割が根本的に異なっています。

創造神界より高い霊位は存在しません。全体意識がさらに上位ですが、世界が分離しているわけではありません。

創造神界と同じ世界に全体意識が存在しているのです。

創造神界が最も高い霊位であるということは、最も遠い未来を創造していることを意味します。また、創造神界が最もエネルギー準位の高い世界であるということも意味しています。

10. 輝の会には大勢の守護神がおられます。釈迦、イエスも輝の会守護神です。

10-1. 輝の会守護神

輝の会には守護神が大勢おられます。

輝の会の活動や会員の方々、開運申込者等の守護神霊として、常時活動されています。また、社会全体の調和実現のためにも、多大な働きをされているのです。

輝の界守護神は、輝の会の霊位上昇（人類全体の霊位を上昇させるはたらき）により、天界（守護神霊の世界）に到達された方々です。輝の会の活動に賛同されて、守護神霊として働いて下さっているのです。

輝の会守護神は、48億人おられます。内、18名は創造神界に到達されています。

（共に2012.3.31現在）。

尚、地球人類（天界未満の霊位の方々）全体では31兆人程の方がおられます。

10-2. 輝の会守護神との交流

輝の会守護神との交流が可能となる場をホームページ上に設けました。

(<http://taki-zawa.net/kami/god.html>)

交流が可能な輝の会守護神霊は、次の方々です。（有名な方々を選ばせて頂きました）

各守護神のページには、各神霊のオーラが流れています。（御魂が込められています）ホームページに記載されている名前に向かって想いを伝えると、各神霊に伝わります。

（言葉にしなくても、心の中で想うだけで伝わります）

ぜひ、守護神との交流を行って頂きたいと思います。

輝の会本尊（輝の会最高指導神）

輝の神（滝沢輝（輝の会会長）の内面意識、創造神）

輝の会守護神

釈迦（仏教開祖）

空海（真言宗開祖）

日蓮（日蓮宗開祖）

道元（曹洞宗開祖）

法然（浄土宗開祖）

親鸞（浄土真宗開祖）

谷口雅春（生長の家開祖）

五井昌久（白光真宏会開祖）

モーセ（旧約聖書）

イエス（キリスト）

ソクラテス（ギリシャ哲学）

プラトン（ギリシャ哲学）

アリストテレス（ギリシャ哲学）

孔子（儒教）

荘子（道教）

ニュートン（科学・数学）

美空ひばり

石原裕次郎

5代目三遊亭円楽

北公次（フォーリーブス）

青山孝史（フォーリーブス）

田中好子（キャンディーズ）

坂井泉水（ZARD）

本田美奈子

スティーブ・ジョブズ(Steven Paul Jobs)

マイケル・ジャクソン

(Michael Joseph Jackson)

ホイットニー・ヒューストン

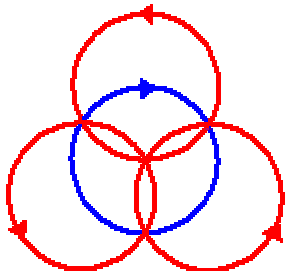
(Whitney Elizabeth Houston)

11. 輝の会教義「5次元理論」により、オーラ発生原理の理論化に史上初めて成功。この理論により、オーラ（磁界エネルギー）発生装置を開発済です。

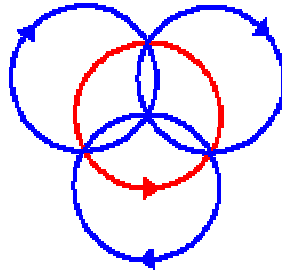
11-1. 磁界エネルギー（オーラ）発生装置

磁界エネルギー（オーラ）は機械的に生成することも可能です。
この装置を磁界エネルギー発生装置と呼ぶことにします。

磁界エネルギー発生装置は、4重円構造と磁力線を用いて構成します。（注）



（図 1）



（図 2）

図 1、図 2 は共に 4 重円構造です。赤は反時計回り、青は時計回りの回転を意味します。

図 1、図 2 は、引力と直行する平面上の図形とします。

図 1、図 2 の赤・青それぞれの回転方向に磁力線を流すと、中心円の中心部分から磁界エネルギー（オーラ）が放射されます。このように磁力線により、磁界エネルギー（単磁荷エネルギー）を発生させることが可能なのです。

磁界エネルギーは物理学で未発見の単磁荷に相当します。

〔 電界の構成要素である単電荷は電子です。
磁界の構成要素である単磁荷は物理学では未発見です。 〕

また、磁界エネルギーは人の意識エネルギーです。人はこのエネルギーを用いて磁界を生成することにより、体内の電流をコントロールしているのです。

従来、磁界エネルギー（オーラ、単磁荷エネルギー）は一部の宗教家だけが使用できる特殊な能力だと考えられていましたが、機械的に生成することが可能なのです。

磁界エネルギー発生装置は、人類史上初めて機械的に磁界エネルギー（オーラ、単磁荷エネルギー）を生成することに成功した装置なのです。

（注）本ページに記載した磁界エネルギー発生装置は特許出願済です。
許可なく商品化することはできません。

12. 延命・長寿サービスを会員に無料で行います。

一般の方は**延命・長寿サービス（トライアル）（無料サービス）**をお申込頂け
ます。

創造神は生命エネルギー（人の生命を司るエネルギー）を供給できるため、人の
寿命を延ばすことができます。

12-1. 生命エネルギーの発見

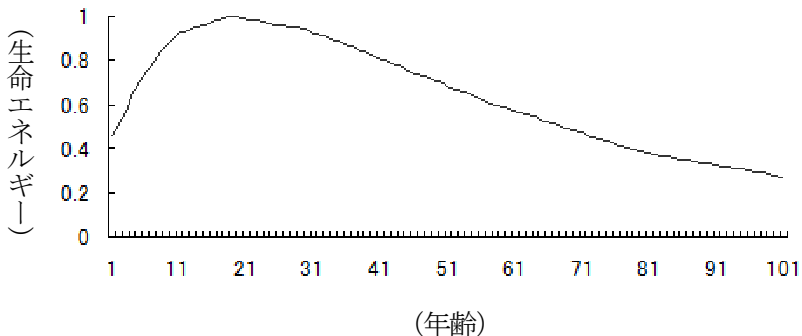
生命エネルギーとは、人の活動エネルギーの内、生命維持（生理的な活動や運動、頭脳労働
等の全て）に必須の磁界エネルギー（人の活動エネルギー）のことです。

生命エネルギーは、人の寿命を規定するエネルギーでもあります。

このエネルギーは創造神界以上の神霊（創造神）からすべての人々に常時送られています。

12-2. 年齢と生命エネルギー供給量の関係

生命エネルギー曲線



年齢と生命エネルギー供給量の関係をグラフにしました。

縦軸が生命エネルギー供給量、横軸が年齢です。

18歳前後で供給量のピークに達します。この時の供給量を高さ1としてグラフを作成しています。

生命エネルギー量の単位は(人・年)です。この単位における1は、最も供給量の多い18歳前後の1年間に、創造神界から供給される生命エネルギー1人分の平均値です。

18歳以降は年齢と共に生命エネルギー供給量が少しずつ減少します。これは、肉体を維持・コントロールする力が減少することを意味します。

グラフの生命エネルギーの合計値(0歳~100歳)は65になります。これは、人が100歳迄に供給を受ける生命エネルギー量の合計値です。

生命エネルギー供給量の下限は年0.23(人・年)程です。これより生命エネルギーの供給量が減少すると、肉体を維持することが不可能になります。

老化の原因は、この生命エネルギーの減少なのです。磁界エネルギーが減少すると、その分だけ肉体の活動量が減少します。これが肉体各器官の働きが衰える根本的な理由なのです。

また、多くの人々が100歳程度迄しか生きることができない原因は、この生命エネルギーの減少です。生命活動を続ける根本的なエネルギーが減少するため、肉体を維持することが出来なくなるのです。

創造神界から生命エネルギーが100歳程度までしか供給されない理由は、人類自身がこのエネルギーを生成して、寿命を自らコントロールすることを天が願っているためです。

寿命をコントロールする手法をマスターする為に100年前後の期間があれば十分だと、天は判断されているのです。ですから、生命エネルギーは100年程の期間しか供給されないのです。その間に人が成長し、自ら生きる力を生み出すことが出来るようになることを、天は望んでおられるのです。

ですから、人は100歳程度までしか生きることが出来ない訳ではないのです。それよりもはるかに長い期間さえ生きることが可能なのです。ただ、その方法を理解出来ていなかっただけなのです。

生命エネルギーを自分自身に対して供給することができれば、いくらでも肉体活動を維持することが可能なのです。

尚、創造神が生命エネルギーを供給できる理由は、天界より霊位が高く、エネルギー準位が高いためです。

その結果、天界の神霊よりもより高度な活動を行うことが可能なのです。

人の生命を維持することも、もちろん可能なのです。

12-3. 延命・長寿サービス（トライアル）

生命エネルギーの供給を、輝の会会員へのサービスとして提供しています。

このサービスを、**延命・長寿サービス**（注）と呼びます。

延命・長寿サービスは、輝の会会員専用のサービスです。

輝の会から輝の会会員全員に、無償で提供しております。

会員ではない一般の方に対しては、**延命・長寿サービス（トライアル）**を提供致します。お申込者には、延命・長寿サービスを無料で1ヶ月間提供させていただきます。

（注）：延命（病気等で寿命がある程度分かっている人の寿命を延ばすサービス）と、長寿（一般の方の寿命を延ばすサービス）を組み合わせて延命・長寿サービスと呼びます。

12-4. 延命・長寿サービスについて

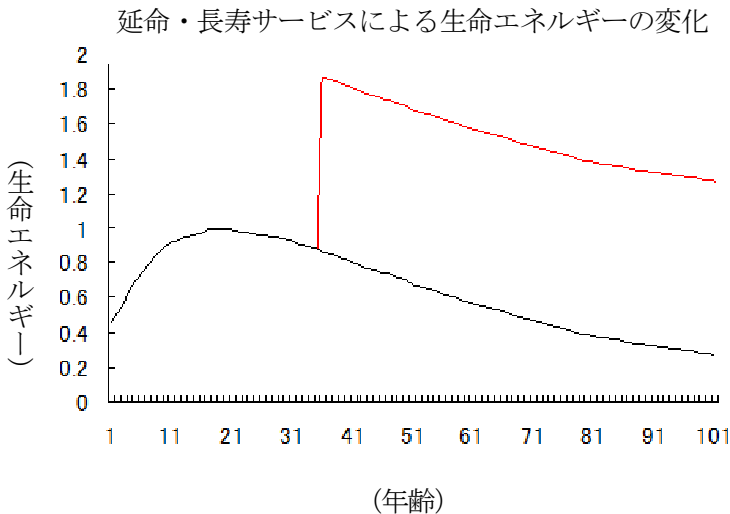
輝の会会員に対する延命・長寿サービスの概略について説明します。

輝の神（輝の会本尊）は、既に創造神界に到達しているため、生命エネルギーを誰にでも供給することが可能です。人の寿命を延ばすことができるのです。

上図の黒いグラフは、一般的な人への生命エネルギー供給量です。

（創造神界から供給されています）

赤いグラフは、35歳で輝の会に入会した会員の生命エネルギーです。



入会時点から、生命エネルギーを1年につき1（人・年）ほど追加供給いたします。1（人・年）は18歳前後の人が1年間に供給を受ける平均的な生命エネルギー量を意味します。

赤と黒の差が、延命・長寿サービスにより、輝の会から追加供給されるエネルギー量になります。

グラフからお分かり頂けると思いますが、100歳を越えても生命エネルギー量が1（人・年）を越えています。

これは、現在の18歳の人より生命エネルギーの供給量が多いことを意味します。10代よりも多くの肉体維持エネルギーを確保できるということです。

その結果、生命エネルギーを追加された人の延命・長寿が実現します。

単に寿命が延びるだけではなく、各年齢における生命エネルギーが強化されるため、活動量が増えることになります。あらゆる面で積極的、活動的な人生を送ることができるようになるのです。

体力も増加し、健康を維持することも可能になります。100歳を越えても、現在の18歳よりも多くの肉体活動を営むことができるのです。

スポーツ・学術等、あらゆる分野で現在の若者に勝るとも劣らない成果を上げることさえ可能になります。

このように、延命・長寿サービスは単に寿命を延ばすだけではありません。若さを保ちながら長寿を楽しむことを可能とするのです。

尚、赤のグラフは、35歳で輝の会に新規入会した人が、100歳まで会員を継続する場合の生命エネルギー供給量を意味しています。

12-5. 千年王国の到来

キリスト教では、イエス再臨の後に千年王国に入るとされています。（前千年王国説）

至福の千年間が訪れると考えられているのです。

但し、千年王国が何なのか、キリスト教徒の人々にも正しい内容は理解できていません。

千年王国は、千年以上生きることができる世界の到来を意味します。

この千年王国を実現したのが、輝の会の延命・長寿サービスです。

生命エネルギーの量をコントロールすれば、寿命を自由に延ばすことが可能なのです。

12-6. 延命・長寿サービス（トライアル）について

延命・長寿サービスを体験したい方には、**延命・長寿サービス（トライアル）**を提供致します

す。

延命・長寿サービス（トライアル）は、延命・長寿サービスを1ヶ月間無料体験頂けるサービスです。

延命・長寿サービス（トライアル）お申込方法につきましては、ホームページを参照願います。（<http://taki-zawa.net/longevity.html#60>）

13. 天意により、がんや統合失調症等の難病治療を受付中。磁界エネルギーは調和エネルギーなので、がんや統合失調症等の原因を消去することが可能です。その結果、これらの難病を完全に治療することができます。（手術は行いません）

13-1. 磁界エネルギー治療とは

磁界エネルギー治療とは、磁界エネルギー（徳やオーラと呼ばれています。人の活動エネルギーです。物理学で未発見の単磁荷に相当します。）を用いて病気など、肉体の不調和な状態の治療を行うサービスのことです。

がん、統合失調症など、医学では直りにくいとされている病気や、その他の病気・体調不良等を対象としています。

創造神界入りした滝沢輝（輝の会会長、磁界エネルギー治療実施責任者）は

「磁界エネルギーを用いて人々を救済しなさい。がんでさえ完全に直すことができます。」

というアドバイスを、天から頂きました。このアドバイスに基づいて始めたのが、磁界エネルギー治療なのです。

13-2. 磁界エネルギー治療が必要な理由

医学では完全な治療法が確立されていない様々な病気や症状があります。

癌（がん）や統合失調症などが該当します。

磁界エネルギー治療ではこれらの病気の原因を完全に消去することが可能です。

その結果、症状が改善します。（完全に治癒します）

医学で治療困難な病気や、原因不明の病気の治療を行うことができることが、磁界エネルギー治療の最大のメリットなのです。

（理由は以下の説明を参照願います）

13-3. 医学で治療できない病気が多い理由

医学の前提は、物理学を中心とする科学知識です。これらの知識が正しいという前提で、医学の治療方法は確立されています。

しかし、物理学は正しくありません。

物理学では、世界を原子の集合体として説明しています。原子（点）の集合で世界が構成されているというのが物理学の立場なのです。

この考え方だと、環境と自分の体は別の原子で構成されているため、環境に何かの影響を与えても、体には何の影響も無いことになります。

同様に、他者に影響を与えても、自分の体には何の影響もないことになります。

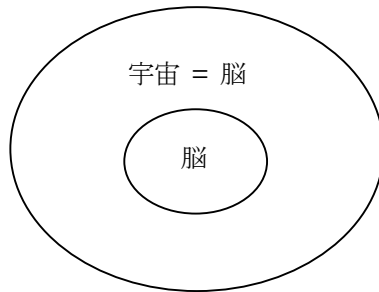
しかし、物理学の考え方は正しくありません。

私達は光などの信号を外部から取り入れ、脳で情報処理を行うことにより認識を行っています。私達が見ている世界は、脳で情報処理を行った結果なのです。

宇宙も私達が認識した結果です。その情報は全て私達の脳の中にあるのです。ですから、宇宙の情報は全て脳の中にあるのです。

宇宙が脳の中にあり、その宇宙の中に肉体の頭（脳）があります。

ということは、私たちは常に宇宙大の脳と肉体の脳、大小2種類の脳を同時に認識していることになります。



宇宙と頭部の脳が同じ脳であるということは、周囲の環境（宇宙）と自分の体（頭部）が同じものであることを意味します。このように、私たちの肉体は周囲の環境と同じ要素で構成されているのです。

物理学の「宇宙と肉体は別の原子で構成されているため、宇宙に影響を与えても肉体には影響がない」という考え方が誤りであることは、以上の説明から明らかなのです。

「周囲の空間（宇宙）と肉体はつながっているため、周囲に与えた影響により肉体が影響を受ける」という考え方が正しいのです。

医学では宇宙と人のつながりの見落としをしているため、様々な病気や症状が治療不可能なのです。

医学の治療方法は、物理学の「環境と人はつながっていない」という立場で構成されています。しかし、現実には、人の肉体は周囲の空間や環境とつながっているのです。

その結果、周囲の環境に原因がある様々な病気、症状を医学では治療することができないのです。

肉体と宇宙が同じ要素で構成されているということは、宇宙の大きな空間を小さくして肉体が構成されていることを意味します。宇宙が縮小されて、肉体が出来ているのです。

広い空間や他者に与えた影響も縮小されて、肉体の非常に小さな領域への影響になります。

これらの影響は原子の内部への影響になります。そしてこの影響が時間の経過と共に目に見える症状として現われてきたのが、各種の病気や症状なのです。

〈体の構成要素〉

(小さい方) 電子 — 原子 — 分子 — 細胞 — 肉体 (大きい方)

体の構成要素を科学知識に基づいて記載しました。

(輝の会教義「5次元理論(第3巻)」では、『惑星の公転軌道が縮小されて電子軌道になる』と解説しています)

現在の医学では、治療研究を分子以上の大きな領域を対象として行っており、原子の内部は治療研究の対象外となっています。

ですから、環境に与えた影響が原因となる病気・症状に対して医学は本質的な治療法を発見することができません。その結果、多くの病気の治療方法が確立出来ていないのです。

宇宙と体はつながっています。ですから、周囲に与える影響は体にも影響を与えます。これは原子内部から肉体に影響を与えます。ですから、分子以上の大きさを治療の対象とする現代医学の立場では、多くの病気の治療法を確立することができません。

医学者は、宇宙と体がつながっていることを理解すべきです。そして、原子内部に原因がある病気が多数存在することを理解しなければなりません。

それが、真の医療を確立するためのスタートラインなのです。

13-4. 磁界エネルギーによる業念の消去

周囲の人や環境に与える想念や行為は、自分自身に影響を与えます。

誤った想念や行為は自分自身にも悪影響を与えます。この悪影響を与えるエネルギーを業念と呼びます。

業念は実在しません。（業念は天には存在しません）

実在しないということは、消去可能ということを意味します。

天が人を生かすために人類に送るエネルギーが磁界エネルギーです。

磁界エネルギーは調和のエネルギーなので、業念を消去することが可能です。

業念に磁界エネルギーを当てると、業念は消えます。磁界エネルギーは業念消去に最も有効なエネルギーなのです。

13-5. がん・統合失調症の原因は莫大な業念

がんや統合失調症など、治りにくいとされている病気の特徴は、業念の量が極めて多いことです。

これらの病気の原因となる業念を全て消去するために必要な磁界エネルギー量の平均値は以下の通りです。

■がん：478万（人・年）

・ ・ 内427万（人・年）は哺乳類の肉食が原因

■統合失調症：187万（人・年）

1（人・年）とは、天から供給される徳（磁界エネルギー）が最も多い18歳前後の人が、1年間に供給を受ける平均的なエネルギー量を1とする単位のことです。（輝の会が定義した単位です）

1（人・年）の業念を消去するためには、1（人・年）の磁界エネルギーが必要です。

がんや統合失調症になる人に蓄積されている業念を全て消去するためには、18歳の体力で数百万年活動できるほど莫大な磁界エネルギー（活動エネルギー）が必要なのです。

（平均値です。もちろん個人差があります）

この業念を蓄積したまま他界すると、地界（積徳量マイナスの人の世界）に移行します。ですから、その前に業念を消去する必要があります。莫大なエネルギー（業念）の消去が肉体を通じて行われることとなります。これが、がんや統合失調症などの症状なのです。

これらの病気では、業念の量が極めて多いため、その消去過程で極端な症状が発生します。

病気の様々な症状は、業念を消去する作用なのです。業念が多いため、極端に強い症状に見舞われるのです。（強い症状ほど、消去される業念の量は多くなります）

尚、病気自体は実在しません（天界以上の世界に病気は存在しません）。

誤った想念・行為（業念）の消去過程で発生する各種の症状を病気と呼んでいるのです。

業念を発する人がいなくなれば、病気も無くなります。病気が実在しないためです。

13-6. 個人の積徳量と国家・社会の積徳量の関係

がんや統合失調症の原因となる業念を消去するために必要な磁界エネルギー量は、その個人のマイナスの磁界エネルギー量を意味します。

業念の消去に磁界エネルギーが必要になるのは、業念のマイナスの磁界エネルギーをプラスの磁界エネルギーで相殺するためです。

しかし、個人の積徳量はマイナス50（人・年）程度が下限です。これ以上マイナスの積徳量は蓄積されません。

積徳量として蓄積されない、がんや統合失調症の原因である莫大な業念は、霊位低下という形でその個人に蓄積されます。そして、この業念が消去される際に、がんや統合失調症の症状が表れるのです。

（霊位、積徳量については 8-1. 霊位分布図、8-2. 積徳量分布図 を参照願います）

国家や社会全体の積徳量は、構成員である個人の積徳量、及び先祖から引き継がれた積徳量の合計値になります。

がんや統合失調症の人の積徳量は、1人当たりマイナス50（人・年）程度までが国家の積徳量として計上されます。それ以上のマイナス値は計上されません。

がんや統合失調症になる人が大勢いたとしても、それだけで国家や社会の積徳量が極端なマイナスになることは無いのです。

13-7. 莫大な業念が蓄積される理由

莫大な量の業念が蓄積される理由は様々です。

以下に具体例として1～3を記載します。

1. 歪んだ想念

世界は人の意識で構成されています。また、宇宙と人はつながっているため、周囲に発する想念は、自分自身に記録されます。

世界はフラクタル構造（無限に連なる大小の同形構造）です。フラクタル構造では重ね合わ

せが起こるため、エネルギーが増幅されます。歪んだ想念（他者や環境等を傷つける想念）を継続的に発し続けると、歪んだ想念の増幅が続きます。これは莫大な業念となり、自身に全て記録されます。（宇宙と人はつながっており、人が宇宙を内包しているためです）

2. 中絶

妊娠中絶を行うと、人の命が奪われることになります。

人は生涯で65（人・年）ほどの磁界エネルギーを天から供給されます（平均値）。

中絶はこの生命エネルギーを奪い去る行為です。

人はフラクタルで構成されています。自分と他者が互いに内包しあっているのです。この関係が無限に続くフラクタルで人は構成されています。人の磁界エネルギーも互いに内包しあっています。磁界エネルギーをフラクタルで共有することにより、磁界エネルギーが増幅しているのです。

1人に供給される磁界エネルギーは65（人・年）ですが、フラクタルによりこのエネルギーは増幅されます。54.6万（人・年）程度に増幅されます。

中絶を行うと、この54.6万（人・年）の磁界エネルギーを人類から奪うことになります。その結果、中絶の関係者にはこの54.6万（人・年）の磁界エネルギーを奪ったという事実が記録されることになります。

このように、中絶（生命を奪う行為）により莫大な業念が関係者に記録されます。

尚、中絶により蓄積される業念は、主に精神性の疾患（統合失調症等）の原因になります。

3. 肉食（哺乳類）

哺乳類（牛・豚等）を食べる行為も、同様の結果となります。

動物に供給される磁界エネルギー量は人と異なるため、蓄積される業の量も人とは異なります。

牛1頭で18.8万（人・年）、豚1頭で11.7万（人・年）ほどの磁界エネルギーを奪ったという記録になります。

牛1頭からは300kgほどの精肉ができます。日本人の牛肉消費量は年平均で5.9kg（2009年）です。50年食べ続けると、295kgの消費量になります。ほぼ牛1頭を食べることになります。

豚1頭からは50kgほどの精肉ができます。日本人の豚肉消費量は年平均で11.5kg（2009年）です。50年食べ続けると、575kgの消費量になります。豚11.5頭を食べる計算になります。

以上から、牛肉・豚肉の50年間の消費により記録される業念（牛・豚から奪った磁界エネルギー量）は、日本人平均で153万（人・年）になります。

平均より3倍多く肉を食べる人の場合、50年で459万（人・年）の業念が記録されるこ

とになります。これは癌患者の平均的な業念の量にほぼ一致します。

動物の場合、加工される際に麻酔を受けるわけではありませんから、強力な痛みを感じていると思われます。これらの動物の肉を食べる人は、動物にこの痛みを与えたという事実が記録されます。

がんの特徴は、がまんできない程の痛みです。この痛みは、痛みを与えたという記録の消去過程として発生しています。哺乳類の食べる行為自体が、痛みを与えたという記録になります。そして、がんの痛みとして消えていくのです。(がん以外の病気の痛みにもなっています)

13-8. がんは生活習慣病

がんの主な原因は哺乳類を食べる行為です。

哺乳類は食べ物ではありません。宇宙はフラクタルで構成されています。哺乳類の動物と人は互いに内包しあっています。遺伝子も何らかのつながりがあると考えられます。哺乳類を食べる行為は遺伝子に食べられる(破壊される)という記録を行っていると思われます。そして、この記録が実現するとき、細胞が破壊されていくのです。これが、がんと呼ばれる症状です。

がんは生活習慣病です。哺乳類の肉食という生活習慣が、がんの主な原因なのです。

ですから、哺乳類の肉食をやめるだけで、がん患者数は激減します。

がん対策として様々な研究が行なわれていますが、最も有効な対策は、哺乳類の肉食をやめることなのです。

がんのエネルギーの大半は、哺乳類の肉食をしている本人のエネルギーなのです。

このエネルギーが自分自身の肉体に返ってきている状態をがんと呼ぶのです。

ですから、最善の対策は生活習慣を変えることなのです。

13-9. 磁界エネルギー治療では業念の完全消去が可能

磁界エネルギー治療では1000万(人・年)までの磁界エネルギーをお申込者に提供します。

これは、全てのがん患者や統合失調症患者の症状の原因となる業念(1人分)を全て消去できるだけの磁界エネルギー量になります。

原因となる業念を全て消去すれば、がんや統合失調症の症状は当然改善します。

磁界エネルギー治療では、このように医学では十分に対応できない病気の治療が可能なのです。

磁界エネルギーは電磁波の原理で世界中のどこへでも送ることが可能です。

お申込者には輝の神から直接磁界エネルギーを送ります。
ですから、お申込者は輝の会に来られる必要はありません。
在宅のまま治療を受けられることが、磁界エネルギー治療の特徴なのです。

磁界エネルギー治療では、医薬品は一切使用しません。

また、外科手術も一切行いません。

体に一切負担をかけずに、自然治癒力を強化することにより治療を行います。

磁界エネルギー（人の活動エネルギー）を使用し、自然治癒力を活用して治療を行うことも、磁界エネルギー治療の特徴なのです。

13-10. 莫大な磁界エネルギーを提供できる理由

輝の神（磁界エネルギー治療実施者：滝沢輝の内面意識（霊的意識））は、創造神界に到達しています。

創造神界は人の生命を司ることができる神霊の世界です。

創造神界はキリスト教や仏教の最高指導神霊をはるかに超える霊位です。

（霊位については 8-1. 霊位分布図、9-1. 創造神界 ご参照）

また、輝の会では、磁界エネルギーの生成方法を理論的に解明しているため、磁界エネルギーを大量に生成することができます。

磁界エネルギー生成方法については（11-1. 磁界エネルギー（オーラ）発生装置）を参照願います。

以上の理由で、十分な徳（磁界エネルギー）をどなたにでも提供することが可能なのです。

13-11. 霊位診断

輝の会では霊位診断を実施しています。

磁界エネルギー治療を申し込まれる前に、霊位診断を受けることをお勧めします。

霊位診断では、業念の量を積徳量や霊位の磁界エネルギー量としてお知らせしています。

業念の蓄積量が多い場合、霊位（磁界エネルギー量）が大幅なマイナスになります。このマイナス値が、業念の量を意味します。また、積徳量もマイナスになります。

磁界エネルギー治療で消去が必要な業念の量は、霊位診断結果の霊位（磁界エネルギー）及び積徳量の合計値（マイナスの値）になります。

霊位診断の内容については、（16-1. 霊位診断とは）を参照願います。

14. 開運受付中

14-1. 開運方法

開運をお申込頂いた方には徳をお分けします。

お申込者の徳を増やします。この徳がお申込者を開運へと導きます。

また、徳の量（積徳量）が増えると、指導神霊の霊位が向上します

よりオーラの輝きが強く、力の強い神霊の導きを受けることができます。

その結果、お申込者のオーラが輝きを増し、尊敬を集めることが可能になります。

様々な社会的評価を獲得し、成功する可能性も高くなります。

開運方法を整理すると、以下の内容になります。

1. 徳の提供による開運対象者の積徳量増加（及び霊位上昇）
2. 開運対象者の指導神霊の霊位向上による運氣増大
（オーラ強化による魅力向上、能力向上等）

輝の会の開運とは、このように極めて理論的、合理的な内容なのです。

14-2. 徳は磁界エネルギー

徳は人の活動エネルギーのことです。オーラとも呼ばれています。

オーラは磁力線の組合せで生成できます。

（11-1. 磁界エネルギー（オーラ）発生装置 ご参照）

徳はオーラであり、磁力線の組合せで生成されるため、磁界エネルギーと呼ぶことにします。

徳（磁界エネルギー）は天から常時供給されています。

徳（磁界エネルギー）の単位は（人・年）です。これは天から供給される徳（磁界エネルギー）が最も多い18歳前後の人が、1年間に供給を受ける平均的なエネルギー量を1とする単位のことです。（輝の会が定義した単位です）

14-3. 成功と徳の消費量の関係

社会的に評価の高い資格等を獲得すると、その評価に相当するだけの徳（磁界エネルギー）を失います。

オリンピックで金メダルを獲得する場合、2.7の徳（磁界エネルギー）を選手が保有していないと、金メダルを獲得するのは困難ということになります。

対 象	消費する徳の量 (人・年)	内 容
五輪金メダル	2. 7	
五輪銀メダル	1. 4	
司法試験合格	0. 2 3	
東大合格	0. 1 5	合格科類により異なる。左記は平均値。
内閣総理大臣	4. 3	
衆議院議員当選	0. 7 6	
参議院議員当選	0. 6 3	
日本レコード大賞	3. 1	大賞受賞の場合。

(表1：成功と消費する徳の関係)

(表1)は「対象」を獲得した時に失われる徳の量を数値化したものです。

(表1)の徳の量は、創造神界の記録がベースになっています。輝の神(輝の会本尊)は創造神界の神霊(創造神)です。人の行動等はすべて創造神界に記録されており、創造神はこの内容を把握することが可能なのです。

徳(磁界エネルギー)の蓄積量が2.7未満の選手が金メダルを獲得すると、徳(磁界エネルギー)の量がマイナスになります。しかし、これは稀なケースです。実際には、更に徳の多い選手が金メダルを獲得する可能性が高いのです。

表はメダル取得時に失う徳の量です。オリンピックに出場するためには様々な大会で優秀な成績を収める必要があります。その成績を獲得するためにも徳が必要です。両方合わせると、表よりもかなり多くの徳が必要ということになります。

社会的な評価を得ると、その評価に匹敵するだけの徳を必ず失います。ですから、社会的な評価の獲得を目標にする場合、その評価に見合うだけの徳を保有する必要があります。そうしないと、評価を得るのは困難なのです。

以上の説明で、徳を積み増すことにより社会的な評価を得る可能性が高くなることをご理解頂けると幸いです。

14-4. 生涯で供給される徳の量

日本人が生涯で天(創造神界)から供給を受ける徳(磁界エネルギー)の平均は65(人・年)程度です。65のエネルギー量で、人は生涯の全肉体的・精神的活動を行っているのです。社会に対して大きく貢献する人は、その過程で多くの徳(磁界エネルギー)を消費します。

例えば、社会問題等を解決するためには高度な理解が必要です。そのためには徳を消費する必要があります。

また、社会に大きく貢献すると、多くの人々から賞賛されます。賞賛や尊敬を受けると、それに見合うだけの徳を消費します。

これらの理由で、有名人は徳の消費量が一般の人より多くなるのです。

以下に有名人が生涯で消費した徳（磁界エネルギー）の量を具体的に記載致します。
（人気による徳の消費量を除きます）（敬称略）

空海（真言宗開祖） 1816（人・年）（平均的日本人の 27.9 倍）
美空ひばり（歌手） 1573（人・年）（平均的日本人の 24.2 倍）

これらの方々が一般の人よりも多くの磁界エネルギーを消費できた理由は、生まれてきた時の積徳量（磁界エネルギーの蓄積量）が一般の人よりもはるかに多かったためです。

また、仕事等を通じて社会に貢献することにより、莫大な積徳（磁界エネルギーの蓄積）を行ったためです。

このように、徳を蓄積すると、社会に対してより貢献度の多い仕事を行うことができるようになります。その結果、社会から高い評価を受けることも可能となるのです。

尚、現代人の積徳量については（8-2. 積徳量分布図）を参照願います。

14-5. 開運は受験対策に最適

2011年の大学入学者の平均積徳量は次の通りです。（大学入学時点の積徳量）

東京大学 8. 4 6（人・年）
慶応大学 6. 6 7（人・年）

2011年の司法試験合格者の平均積徳量は、7. 6 4（人・年）です。

（8-2. 積徳量分布図）を見ると、東大入学者や司法試験合格者は、積徳量がかなり多い人々であることが分かります。

このように、積徳量の多い人ほど高い学歴・経歴を獲得することができるのです。

この学歴・経歴は徳が形になった結果です。（徳の消費で実現しました）。

徳は活動エネルギーですから、徳の多い人ほど頭脳の活動量も多くなります。

その結果、難関大学や国家試験等に合格できるのです。

積徳による開運は、各種試験の受験対策として極めて有効です。

尚、滝沢輝（輝の会会長）は東京大学を卒業しました(1989年)。

14-6. 病気の症状改善・健康維持

徳（磁界エネルギー）の不足が、病気の根本的な原因です。

積徳量がマイナスになると肉体が弱くなり、ケガ・病気にかかりやすくなります。

輝の会からの磁界エネルギー提供方法は、以前は開運のみでしたが、新たな提供方法として磁界エネルギー治療法を開始しました。

(13-1. 磁界エネルギー治療とは 以下を参照願います。)

磁界エネルギー治療法により積徳量をプラスにすると、病気の症状を改善し、健康な生活を維持できるようになります。

14-7. 統合失調症の症状改善

統合失調症の幻覚・幻聴等の症状は、業念（誤った想念・行為）の消去過程として発生します。徳（磁界エネルギー）は調和のエネルギーなので、業を消去します。

開運で徳を増やすと業が減少するため、症状は改善します。

統合失調症が直りにくい理由は、業念の量が極めて多いためです。

業念の消去に時間がかかるため、長期間症状が続くのです。

消去に数万（人・年）の徳（磁界エネルギー）が必要になる場合も珍しくありません。

輝の会の磁界エネルギー治療法では、他の宗教よりも、はるかに多くの磁界エネルギーを提供します。その結果、短期間で症状を大幅に改善することが可能なのです。

(13-1. 磁界エネルギー治療とは 以下を参照願います。)

14-8. 積徳量と指導神霊位との関係

積徳量	指導神霊位		積徳量	指導神霊位	
457,000	天界	3 7	157	天界	3 1
29,000		3 6	98		3 0
1,690		3 5	58		2 9
406		3 4	29		2 8
313		3 3	17		2 7
224		3 2			

・積徳量の単位は(人・年)です。

全ての人は指導神霊に導かれています。

個人の積徳量（磁界エネルギー蓄積量）と、指導神霊の霊位の関係を表にまとめました。

表中の「天界」は、指導神霊の世界（霊界）を意味します。

天界は37段階で構成されています。

（大きい数字が高い霊位を意味します）

天界の神霊として有名な大日如来や阿弥陀如来は、天界の2段目に位置しています。

（天界については 8-1. 霊位分布図 ご参照）

個人の中心的な指導神霊の霊位は、積徳量と社会的な立場等で概ね決まります。

社会的に大きな影響を与える人ほど、より格の高い指導神霊に導いて頂ける可能性が高くなります。

表は社会的影響力が極めて大きい場合の積徳量と指導神霊霊位の関係になります。

（表の内容が該当しない場合もありますが、極めて稀なケースです）

一般の学生や新入社員の場合、もしくは退職等により社会的影響力が小さい場合には、この表よりも霊位の低い指導神霊になるケースが多くなります。

（8-2. 積徳量分布図）には、積徳量別の人数分布を記載しています。

この分布図によると、積徳量が98（人・年）を超えている人は、世界全体で数百人しかいないことが分かります。

積徳量が98（人・年）を超えると、指導神霊の霊位は天界30段目となります。

ということは、指導神霊の霊位が天界30段目を越えている人は、世界全体でも数百人しかいないこととなります。

人のオーラや能力は、指導神霊のオーラや能力で概ね決まります。指導神霊は常に指導対象者と一体化しているためです。

指導神霊の霊位が天界30段目になると、対象者の雰囲気・オーラが天界30段目の神霊のオーラになります。普通の人には無い魅力的な雰囲気を、この人は放射し続けることとなります。

テレビCMに頻繁に登場する女性タレントの指導神霊の霊位が、天界30段目前後となっています。これらのタレントに人気がある理由は、積徳量が多く、霊位の高い指導神霊が導いているためです。その神霊のオーラがこれらのタレントのオーラになっているのです。

音楽にも曲を支える指導神霊が存在します。

曲を支える神霊の霊位が天界31段目以上になると、ほぼ確実にヒット曲になります。

このように、指導神霊のオーラは音楽に魅力を与え、タレントの魅力の源泉にもなっているのです。

尚、指導神霊が天界36段目以上の曲が存在しない理由は、積徳量が不足しているためです。

天界36段目の指導神霊に導いて頂くためには、29000（人・年）の積徳量が必要です。しかし、該当者がいなかったため、天界36段目以上の曲が存在しなかったのです。

現在では輝の会の開運により、29000（人・年）を超える積徳量の人が現れています。これらの方々指導神霊霊位は天界36段目以上です。

これらの方々作曲に関われば、指導神霊が曲を支えるため、天界36段目以上の曲が誕生することになります。

積徳を行うと、曲のレベル（神霊の響き）が高くなるのです。

積徳量を増やすと、指導神霊がより霊位の高い方に交代されます。

そして、その指導神霊のオーラや能力が、自分自身の能力やオーラになるのです。

積徳量を増やすと、指導神霊の霊位向上という形で、様々なメリットを享受することが可能なのです。

逆に、積徳量が減少すると、指導神霊が霊位の低い方に交代されます。

すると、対象者のオーラが弱くなり、能力も低下することになります。

人気のあったタレントが時間の経過と共に人気なくなるのは、積徳量の減少により指導神霊の霊位が低下するためです。

このような人気低下を防止し、人気を維持するためには、積徳が必要です。

積徳量が減少しなければ、指導神霊の霊位が変わらないため、常に霊位の高い神霊のオーラや能力を自分自身のオーラ、能力として発揮し続けることができます。

14-9. 霊位の高い指導神霊のメリット

天界（指導神霊の世界。完全に調和した世界）では、序列は霊位順となります。本来の秩序は、霊位の高い神霊が上位に位置することなのです。

私たちの世界は、霊界（天界以上の世界）の映しとして成立しています。

ですから、正しい序列は、霊位順になります。霊位の高い人が、上位に位置することになるのです。

プロ野球セリーグの順位と、監督の指導神霊霊位の一覧表を記載しました。（2012.6.20時点）
（指導神霊霊位は天界の段階を意味します）

表でお分かり頂ける通り、チームの順位と監督の指導神霊霊位が完全に一致しています。霊位の高いチームが上位に位置しているのです。

指導神霊は指導対象者と一体になります。

ですから、指導神霊の霊位が指導対象者の序列に影響を与えるのです

チームの責任者は監督なので、監督の指導神霊の霊位がチームの順位に反映されるのです。

監督の指導神霊は、監督の積徳量により、頻繁に入替わります。

積徳量が増えれば、より霊位の高い指導神霊の指導を受けることが可能なのです。

すると、神霊の霊位の変更分だけチームの順位も入替わることになります。

このように、個人やその個人を中心とする組織の序列は、その個人の指導神霊の霊位で決まる場合がほとんどなのです。

指導神霊の霊位は、積徳量で決まります。

徳を積み増せば、指導神霊の霊位が上がり、社会的な序列が向上します。

このように、社会的な序列を向上させるためにも、積徳を行い、霊位の高い指導神霊に導いて頂く必要があるのです。

14-10. 人気による徳の消費

タレントや歌手、スポーツマン等には、大勢のファンがいます。

これらの有名人はファンに尊敬され続けているのです。

尊敬されると、その分だけ徳を失います。

一人に尊敬された場合に失う徳の量は、それほど多くありません。

しかし、大勢の人に尊敬されると、人数分だけ失う徳の量が多くなります。

その結果、有名人には大量の徳を短期間で消費する傾向があるのです。

ある有名な歌手の場合、人気で失う徳(磁界エネルギー)の量が1日で5(人・年)程になります。18歳前後の人が1年で消費する徳(磁界エネルギー)の5倍もの徳(磁界エネルギー)を1日で消費しているのです。1年間で1800(人・年)ほどの徳を消費することになります。

280万人程の方が、この歌手を尊敬しています。その結果、この歌手は莫大な徳を消費し

順位	チーム	指導神霊 霊位 (監督)
1	中日	2 9
2	巨人	2 8
3	ヤクルト	2 7
4	阪神	2 7
5	広島	2 6
6	DeNA	2 5

続けているのです。

ベテラン歌手になると、ファンの人数も増えるのが一般的です。ファンの人数が増えれば増えるほど、徳(磁界エネルギー)の消費量も多くなります。

この方が人気を維持したまま歌手活動を続けるには、年間1800(人・年)以上の徳が必要です。人気を維持する目的以外に、歌手活動にも徳(磁界エネルギー)が必要になるためです。

これだけの徳が無いと、積徳量が減少するため、指導神霊の霊位が低下し、人気も低下してしまいます。

このように、人気歌手が人気を維持するためには、莫大な量の積徳が欠かせません。

芸能人・スポーツマンのような人気者が人気を維持するためには、積徳が必要不可欠なのです。

積徳により指導神霊の霊位を高めれば、有名人がさらに人気を集めたり、それほど有名ではない芸能人やスポーツマンが有名人になることさえ可能なのです。

14-11. 開運申込者にお分けする徳の量

開運では、10万(人・年)までの徳(磁界エネルギー)をお申込者にお分けしています。

これは、一般の人が18歳前後の時に創造神界から供給される徳(磁界エネルギー)1年分の10万倍になります。

昔、ある有名な寺で護摩を頂いたことがあります。

この護摩で頂いた徳(磁界エネルギー)の量は0.74(人・年)ほどでした。

輝の会はこの護摩と同金額の開運お申込で、500(人・年)の徳(磁界エネルギー)を提供します。徳の提供量は護摩の700倍程になります。当然、開運効果もそれだけ大きくなります。

徳の提供量の多さが、輝の会開運の特徴なのです。

14-12. 莫大な徳を提供できる理由

輝の神(開運実施責任者:滝沢輝の内面意識)は、創造神界に到達しています。

創造神界は人の生命を司ることができる神霊の世界です。

創造神界はキリスト教や仏教の最高指導神霊を超える霊位です。

(霊位については8-1. 霊位分布図、9-1. 創造神界 ご参照)

また、輝の会では、徳(磁界エネルギー)の生成方法を理論的に解明しているため、徳(磁界エネルギー)を大量に生成することができます。

磁界エネルギー生成方法の詳細については（11-1. 磁界エネルギー（オーラ）発生装置）を参照願います。

以上の理由で、十分な徳（磁界エネルギー）をどなたにでも提供することが可能なのです。お申込をお待ちしています。

14-13. 指導神霊の交代による開運

積徳量が増えると、指導神霊が霊位の高い方に交代します。

指導神霊は天界の神霊です。天界の上位には創造神界があります。

輝の神（輝の会本尊）の霊位は創造神界です。創造神は天界神霊を指導する立場にあります。

よって、天界神霊の働きや、個人の指導神霊の霊位等を全て把握することが可能です。

開運により対象者の積徳量が増えた場合に、指導神霊の交代有無を正確に把握することが可能なのです。

このように、開運お申込者に対して徳の提供と、**指導神霊の交代を正確に把握することが可能です。**

これが、お申込者を確実な開運へと導く原動力なのです。

15. 先祖供養・水子供養受付中

15-1. 先祖供養の重要性

人は1人で生きているわけではありません。誰にでも必ず先祖がいます。

この方々が幹になって、私たちを支えて下さっているのです。

ですから、先祖が高い境涯にいる場合、その家は明るい雰囲気になり、運氣も良くなります。

一方、先祖が救われていない場合、家の雰囲気は暗くなり、運氣も冴えなくなります。

先祖供養をすれば、先祖の境涯が高くなるため、家の雰囲気は明るくなり、

運氣も良くなります。守護神として私たちを守って下さる場合もあるのです。

15-2. 水子供養の重要性

水子にも魂（霊）があります。しかし、自分自身に判断力がないため、自力で霊としての向上の道を進むことはまずありません。

しかし、水子供養を行えば霊としての向上の道を進むことができます。

水子も先祖同様に家族です。放っておけば救われていないため、家の雰囲気は暗くなります。

一方、供養により救済されれば、家の雰囲気は明るくなります。運氣も当然良くなります。

15-3. 先祖供養、水子供養の原理

霊の世界は私たちの世界の時間で構成されています。(5次元は内面世界)

生前の行いで先祖の霊位(霊としての格の高さ)は決まります。

特に供養が必要なのは、霊位(霊としての格)がマイナスの方です。

生前、与えることよりももらうことが多かった場合に霊位がマイナスになります。

言動だけではなく、内面の活動(心のあり方)も霊位決定要因になります。

霊位マイナスの状態とは、積徳量(磁界エネルギーの蓄積量)がマイナスの状態のことです。

この状態を解消し、霊位を高めるためには、積徳量を増やせばいいのです。

徳とは、人や社会に奉仕することにより与えられる磁界エネルギーのことです。

(先祖・水子)供養をお申し込み頂いた場合、責任者(輝の会会長 滝沢輝)が徳(磁界エネルギー)を対象者にお分けします。この徳により対象者の霊位(霊としての格)が向上します。

15-4. 先祖供養による開運効果

先祖供養により先祖が天界入りすると、先祖は守護神霊として働くことが可能になります。

(天界については 8-1. 霊位分布図 ご参照)

子孫であるお申込者を神霊として守護することが可能になるのです。

その結果、家やお申込者の雰囲気明るくなり、運氣が改善します。

先祖供養により多くの先祖の方々に天界入りして頂くことが、幸せな人生に直結します。

15-5. 先祖供養(全体)について

お申込者の先祖全体の供養を希望される場合、先祖供養(全体)でお申込下さい。

先祖全体の供養を行います。

対象となる方は、お申込者の直系親族(尊属)で6親等までの方になります。

(他界された方だけが対象者となります)

15-6. 先祖供養、水子供養でお分けする徳の量

先祖供養では10万(人・年)までの徳(磁界エネルギー)をご先祖様に提供しています。

水子供養では500(人・年)の徳を提供しています。

(人・年)は磁界エネルギー量の単位です。これは天から供給される磁界エネルギーの最も多い18歳前後の人が、1年間に供給を受ける平均的な磁界エネルギー量を1とする単位のこ

とです。

先祖供養で提供する10万（人・年）は、積徳量ゼロの方1000人が天界入りし、さらに向上できるだけの徳（磁界エネルギー）になります。

（天界は守護神霊の世界です。8-1. 霊位分布図 ご参照）

15-7. 先祖、水子以外の方の供養

先祖、水子以外の方の供養も承ります。先祖供養としてお申込下さい。尚、供養の方法は先祖供養・水子供養と同様です。

16. 霊位診断、先祖霊位診断受付中

16-1. 霊位診断とは

霊位診断とは、対象者の霊位、積徳量、生命エネルギー供給量を診断し、お知らせするサービスです。

霊位とは、人の魂（内面意識）の格の高さのことです。内面意識の磁界エネルギー蓄積量で定義可能です。

積徳量とは、社会的な活動による徳（磁界エネルギー）の蓄積量のことです。肉体や頭脳の活動エネルギーとして消費されます。

積徳量と霊位では、磁界エネルギーの蓄積される方向が互いに逆になります。

生命エネルギーは、天（創造神界のこと。9-1. 創造神界 ご参照）から供給される人の活動エネルギーです。生命維持（生理的な活動や運動、頭脳労働等の全て）に必須の磁界エネルギーのことです。

霊位診断では、お申込者の霊位（霊位、段階、磁界エネルギー量）・積徳量（磁界エネルギー量）・生命エネルギー量を診断し、結果をお知らせ致します。

16-2. 霊位証明書

霊位診断を受けた方には霊位証明書を発行します。

霊位証明書は、第三者に霊位診断受診者の霊位を証明する場合にご利用頂けます。

ホームページでメールアドレスとパスワードを入力すると、証明書が表示されます。

尚、霊位証明書の表示可否は、会員専用画面（もしくはユーザー画面）で設定可能です。

霊位証明書用パスワードは、表示可否設定時にご登録頂きます。

霊位を第三者に証明する場合には、メールアドレスとパスワード、及び本サイトをその方にお知らせ願います。証明書は常時閲覧可能なので、いつでも証明書を確認頂くことが可能です。

21世紀は人の霊性が重要視されることになる時代です。霊位診断により自らの霊位の高さを証明することが、最も重要なステータスシンボルになります。

霊位証明書のご活用をお待ちしています。

16-3. 霊位診断の重要性

霊位とは人の内面意識（魂）の高さのことです。

霊位は磁界エネルギー（徳、即ち人の活動エネルギー）の蓄積量で決まります。

霊位の最高位は全体意識です。全ての人の意識はここで一体になります。霊位が高い人ほど周囲の人との一体感が強くなります。

逆に霊位が低い人ほど、周囲の人との分離感を強く感じるようになります。この状態は争いごと等の不調和につながり、社会の破壊等をもたらします。ですから、霊位マイナス状態は回避する必要があります。

霊位は他者の内面意識（心）に奉仕すると上昇します。周囲の人々の内面意識（心）を育てる想念・言葉・行為等が自身の霊位向上につながるのです。

人を大切にしたり、先祖の霊位を向上させても、霊位は向上します。

社会全体を精神的に調和させると霊位はプラスになります。磁界エネルギーが内面意識に蓄積されるのです。そして生活環境も調和します。調和に満たされた幸せな生活が可能になります。

逆に、社会全体を精神的に不調和にする（心を傷つける行為等を行う）と、霊位はマイナスになります。霊位マイナスの人の生活環境は精神的に不調和になりがちです。霊位診断により霊位を正確に把握することは、生活環境の調和状態を把握することになります。

また、霊位診断結果の霊位は、そのまま肉体消滅後の霊位（活動環境）を意味します。

霊位は肉体消滅後も持続する永遠の財産です。霊位診断で霊位を把握することにより、永遠の価値の状態を確認することが可能です。

もし霊位マイナスの場合、開運で霊位をプラスにすることも可能です。これは永遠の価値を高め、更には生活環境の改善にもつながります。

霊位診断は、永遠の価値の確認や生活環境改善のために極めて重要なのです。

16-4. 積徳量診断の重要性

積徳量は表面意識（通常の意識）で使用する磁界エネルギー（徳）の蓄積量です。

成功や幸せと積徳量には、極めて強い相関関係があります。積徳量の多い人ほど、成功や幸せをつかむ可能性が高くなるのです。

人に施しをすると、磁界エネルギー（徳）を蓄積することができます。施しをすればするほど、より積徳量の多い状態を実現できるのです。

この施しは、やがて自分自身に還元されます。この時、人は成功や幸せを享受することになるのです。その結果、磁界エネルギー（徳）は減少します。

積徳量がプラスになると、眉間からオーラ（光）が放射されます

積徳量の多い人ほど、強いオーラを放射します。オーラを放射すると、顔の表情が明るく見えます。その結果、女性は美しく見えます。男性は逞しく見えるのです。

このように、積徳には人を美しく見せる効果があります。徳を積み増すほど、女性はより美しく見えるようになります。

逆に、いくら化粧をしても、積徳量が不十分な場合、あまり美しく見えません。顔の色、形がきれいでも、オーラを放射しないと人目を引かないのです。マネキン人形が美しく見えないのと同じことです。

また、積徳量が多くなると、守護神霊の霊位が高くなります。

全ての人には守護神霊がいます。守護神霊は常時対象者を守り続けているのです。

守護神霊の霊位が高くなると、守られている人の能力が高くなります。その結果、社会的な評価も高くなる傾向があります。社会的な評価をもらう場合、その評価の分だけ徳を消費します。守護神霊の格が高くなると、より多くの徳を消費することになるのです。

積徳量の多い人ほど多くの徳を消費することが可能です。ですから、積徳量の多い人ほど、霊位の高い守護神霊に守られることになるのです。その結果、社会的に高い評価を得ることが可能なのです。

守護神霊と守られる人では、オーラの強さが全く異なります。ですから、人の雰囲気は守護神霊の雰囲気（オーラ）で決まるといっても過言ではありません。

積徳量が増えて守護神霊の霊位が高くなると、より強力なオーラに守られることになります。その結果、高貴な雰囲気（オーラ）に包まれながら生活することになります。守護神霊のオーラがそのまま守護される人の魅力になるのです。

このように、積徳は放射するオーラの強化につながります。その結果、女性はより美しく、男性はより立派に見えるようになります。積徳は人の魅力を一層引き立てるのです。

一方、積徳量がマイナスになると、様々な不調和に見舞われる可能性が高くなります。

積徳量は奉仕の程度を意味します。奉仕するより奉仕される方が多い場合、積徳量はマイナスになります。

積徳量がマイナスの人（奉仕される方が多い人）は、やがて自分自身が奉仕する（何かを提供する）立場になります。これが、何かを失う状態として現れるのです。

体調悪化で仕事を失うケースや、社会的な立場を失うケース等、様々な不幸に見舞われる可能性が高くなります。

積徳量（磁界エネルギー）は人の活動エネルギーです。肉体維持にも使われています。

積徳量がマイナスになると、肉体維持能力が低下します。その結果、肉体が弱くなります。怪我や病気をしやすくなるのです。

積徳量がマイナスになると、寿命が縮む場合があります。マイナスの程度が大きくなるほど、より寿命が縮む傾向にあります。長寿を楽しむためにも、積徳量診断は欠かせないのです。

積徳量がマイナスの場合には、開運により積徳量をプラスにすることが可能です。

開運では、徳（磁界エネルギー）をお分けしています。このエネルギーにより、積徳量をプラスにすることが可能です。その結果、様々な不調和を予防することができるのです。

このように、積徳量を把握することは、短命化や災難の予防や、幸運な人生につながります。幸せな人生を送るためにも、積徳量診断は極めて重要なのです。

16-5. 霊位診断結果内容、及びご連絡方法

1. 霊位

霊位・段階・磁界エネルギー量をお知らせします。

2. 積徳量

積徳量を（人・年）単位でお知らせします。

1（人・年）は18歳前後の人が1年間に天から供給される全磁界エネルギー量（活動エネルギー量）です。

尚、有名人の積徳量は以下になります。（敬称略）

アインシュタイン（物理学者／幼少時） 167（人・年）

美空ひばり（歌手／幼少時） 127（人・年）

3. 生命エネルギー

生涯で生命エネルギー供給量が最も多い18歳前後の平均的な人の供給量を1とする単位で、生命エネルギー供給量をお知らせします。

16-6. 先祖霊位診断とは

先祖霊位診断とは、お申込者のご先祖様の霊位（霊位、段階、磁界エネルギー量）を診断し、お知らせするサービスです。

霊位とは、人の魂（内面意識）の格の高さのことです。内面意識の磁界エネルギー蓄積量で定義可能です。（霊位については 8-1. 霊位分布図ご参照）

16-7. 先祖霊位診断の重要性

先祖霊位診断は、お申込者のご先祖様をつなげ、交流して頂くためのサービスです。

ご先祖様は全員生きておられます。ただ姿が見えません。ですから、霊界でどのような状態なのか判断できないのが一般的です。

先祖霊位診断では、ご先祖様方の霊界での状態を把握し、お知らせ致します。この霊界での状態が霊位なのです。

ご先祖様の霊位が分かると、親近感が湧きます。この時、内面意識（人の見えない意識、心）ではご先祖様とお申込者がつながっているのです。

このように、ご先祖様の状態をお知らせすることにより、お申込者やご家族と、ご先祖様をおつなげするのが、先祖霊位診断の目的なのです。

また、ご先祖様の状態が分かると、先祖供養の必要性も明確になります。

もしご先祖様の霊位がマイナスの場合（迷いの世界に位置している場合）、先祖供養で救済することが可能です。

また、霊位がプラスの場合でも、先祖供養により更に高い霊位で活動頂くことも可能です。

天界に到達すると、守護神霊として活動することが可能です。ご先祖様に天界入りして頂き、お申込者やご家族の守護神霊として働いて頂くこともできるのです。

このように、先祖霊位診断はお申込者のご先祖様がつながる大切な機会なのです。

<各種サービスのお申込方法>

各種サービスのお申込方法は以下のホームページを参照願います。

- ・延命・長寿サービス（トライアル）
<http://taki-zawa.net/longevity.html#60>
- ・磁界エネルギー治療
<http://taki-zawa.net/cure/index.html#110>
- ・開運
<http://taki-zawa.net/kaiun/kaiun4.html>
- ・先祖供養・水子供養
<http://taki-zawa.net/kuyou/kuyou1.html>
- ・霊位診断
<http://taki-zawa.net/cert/shindan.html#6>
- ・先祖霊位診断
http://taki-zawa.net/cert/s_shindan.html#6

<輝の会教義について>

輝の会教義はすべてホームページ上で公開しています。
ぜひご一読頂きたいと思います。

ホームページ：<http://taki-zawa.net>

輝の会会長 滝沢 輝 (たきざわあきら) の経歴・活動実績

- 1985年 宗教家としての活動を開始。
- 1989年 東京大学工学部卒業、
三井銀行（現三井住友銀行）入行
- 1994年度 「パソコンが銀行になる。システムを戦略部門にすべきである。」 と（さくら）銀行に提言。
この後、さくら銀行は日本初のインターネット専門銀行（ジャパンネット銀行）を設立する等、IT戦略で銀行業界のトップを独走。この動きが各産業界へのIT導入や日本のIT戦略へつながった。
上記提言が日本のIT戦略の原動力になったのである
- 1999年7月 霊位が釈迦、イエスを超越る。
- 2000年6月 5次元等研究のため、退社。
- 2001年12月 31日 ピラミッド形（万物の創造原理、かつ磁界エネルギー（人の活動エネルギー）生成装置）を天より授かる。イエスの再臨である。
- 2001年9月 「釈迦を超えた日」を出版。5次元を提唱。
- 2003年2月 「5次元理論」（本書）を出版。世界がフラクタル構造（点に空間が内包されている構造）であることを理論的に解説。5次元導入による物理学の全面的な改定作業の必要性を提言。
- 2003年6月 「マイナス金利の導入」を著述。日本経済再生のため、経済理論の再構築を実施。名目経済成長率と金利水準が一致すべきであることを理論的に解説。1990年代以降の不景気の原因が、高すぎた金利水準であることを同時に証明。金利水準と名目経済成長率の関係を逆転させることにより景気・財政の回復を図るべきだと主張。本書を政府・日銀等に送付後、金利を下げるべきとの認識が国内に広まり、景気回復の原動力となった。
リーマンショック後の世界各国における低金利政策の理論的根拠にもなっている。
- 2004年1月 フラクタル構造に電磁波を蓄える性質があることが確認される（朝日新聞の1面に掲載）。「5次元理論」の内容の一部が学術的に確認されたことになる。
- 2005年 「5次元理論」の続編の執筆を開始。基本構造について、日本物理学界等へ送付。
- 2005年 天界入りを果たす。
- 2006年11月 「5次元理論 ～その2」を著述。日本物理学会等へ送付。
- 2007年 「貨幣へのオプション概念の導入」「外国為替理論の再構築」を著述。各方面へ送付。
- 2008年6月 人類救済のため、「輝の会」設立。
- 2009年8月 「フラクタル経済理論」を著述。バブル発生理由の理論的解明に成功。



2009年10月 「5次元理論 第3巻 認識の原理」を著述。
2011年10月 「5次元理論 第4巻 宇宙の創造原理」を発表。
2011年11月 創造神界入りを果たす。
2011年12月 「延命・長寿サービス」をスタート。人類の長寿化開始。キリスト教の千年王国の実現である。
2011年12月 「磁界エネルギー（オーラ）発生装置」を発表。磁界エネルギー（オーラ）を機械的に生成することに成功。
2012年2月 「5次元理論 第4巻 宇宙の創造原理」を日本物理学界へ送付。
現在 輝の会会長

輝の会

2012年8月1日 初版発行

- ・ホームページ <http://taki-zawa.net>
- ・メール info@taki-zawa.net
- ・電話番号 045-513-5866 (9:00-17:00、土・日を除く)

〔輝の会はインターネットを中心に活動しています。〕
〔ご連絡はなるべくメールでお願い致します。〕

Copyright ©Akira Takizawa all rights reserved.

宗教団体別救済実績（2012. 3. 31 時点）

	救済者数（万人）	導いた守護神数
輝の会	8 2 1 4 7 5 4	4 8 6 7 2 6（万人）
キリスト教	3 1 6 3 4 6 7	0
仏教	2 8 7 8 8	4（人）
神道	1 1 4 6 2	0
幸福の科学	0	0
創価学会	0	0
立正佼成会	3 6 7	0
霊友会	2 9 7	0
天理教	2 8 4	0
P L 教団	2 3 7	0
真如苑	2 2 6	0
世界救世教	2 1 6	0
崇教真光	2 0 7	0
生長の家	1 9 4	0
世界基督教統一神霊教会	0	0
天照皇大神宮教	1 7 8	0
金光教	1 5 6	0
神慈秀明会	1 3 5	0
阿含宗	0	0
善隣教	0	0
世界真光文明教団	9 8	0
もみみの塔聖書冊子教会	0	0
大本	8 6	0